

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-175617

(43)Date of publication of application : 02.07.1999

(51)Int.Cl.

G06F 17/60
G06F 13/00

(21)Application number : 09-338774

(71)Applicant : RECRUIT CO LTD

(22)Date of filing : 09.12.1997

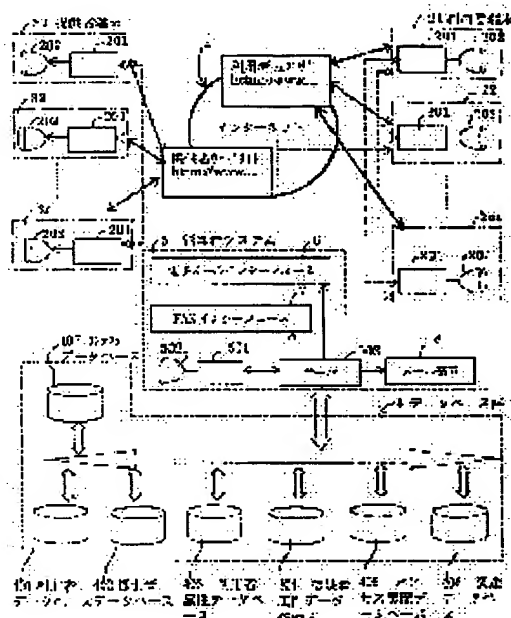
(72)Inventor : EHATA TETSUYA

(54) TRANSACTION MEDIATION SYSTEM AND METHOD FOR MANAGING TRANSACTION MEDIATION, AND TERMINAL EQUIPMENT AND INFORMATION TRANSMISSION AND RECEPTION SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make attainable a transaction mediation matched with various demands from each terminal by allowing a server to assign a network address to a user terminal, and to generate and store a file to be referred to by the user terminal.

SOLUTION: User terminals 21-2m, provider terminals 31-3n, and control system 5 are connected with an internet 1. A user and a provider enter the contents demanded by themselves by using a registration sheet or the like. A server 503 operates registration in a user attribute data base 403 and a provider attribute data base 404 based on the registration sheet. The network address of a web page exclusive for the user is generated, and the provider transmits this to the user. The server 503 compares the data bases 403 and 404, and registers a file including the information of the provider which is likely to be demanded by each user in a user web site. The user performs access to this file, and retrieves the information demanded by himself.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 10.03.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3034836

[Date of registration] 18.02.2000

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-175617

(43) 公開日 平成11年(1999) 7月2日

(51) Int.Cl.⁶G 0 6 F 17/60
13/00

識別記号

3 5 4

F I

G 0 6 F 15/21
13/00

3 3 0

3 5 4 D

審査請求 有 請求項の数26 O L (全 50 頁)

(21) 出願番号 特願平9-338774
(22) 出願日 平成9年(1997)12月9日

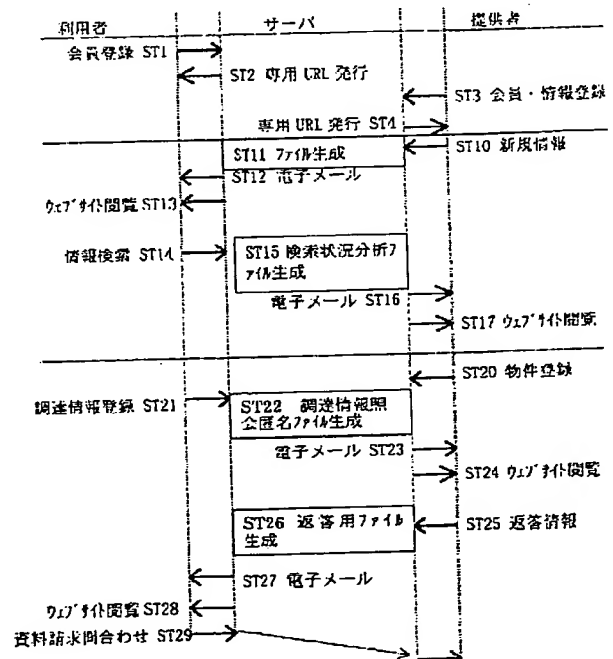
(71) 出願人 000139012
株式会社リクルート
東京都中央区銀座8丁目4番17号
(72) 発明者 江幡 哲也
東京都中央区銀座8-4-17 株式会社リクルート内
(74) 代理人 弁理士 稲葉 良幸 (外2名)

(54) 【発明の名称】 取引仲介システム、取引仲介管理方法、端末装置および情報送受信システム

(57) 【要約】

【課題】 物件を購入するユーザおよび物件を提供するメーカ双方に便宜な取引仲介システムを提供する。

【解決手段】 1以上の利用者端末に対しネットワークを介して接続されるサーバと、利用者端末から送信された利用者情報を、サーバから読み書き可能に蓄積する利用者データベースと、を備える。サーバは、利用者端末から利用者情報が送信された場合に、利用者情報を前記利用者データベースに格納する。そして所定の条件が満たされた場合に、利用者情報を送信した利用者端末に対し固有のネットワークアドレスを割り当てる。そしてネットワークアドレスを指定させることにより当該利用者端末から参照される記憶領域に、利用者端末に参照させるためのHTMLファイルを生成して格納する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 利用者によって操作される 1 以上の利用者端末に対しネットワークを介して接続されるサーバと、

前記利用者端末から送信された利用者情報を、前記サーバから読み書き可能に蓄積する利用者データベースと、を備え、

前記サーバは、前記利用者端末から利用者情報が送信された場合に、当該利用者情報を前記利用者データベースに格納し、当該利用者情報を送信した利用者端末に対し固有のネットワークアドレスを割り当て、当該ネットワークアドレスを指定させることにより当該利用者端末から参照される記憶領域に、当該利用者端末に参照させるためのファイルを生成して格納することを特徴とする取引仲介システム。

【請求項 2】 前記サーバは、提供者によって操作される 1 以上の提供者端末に対しネットワークを介して接続され、

当該取引仲介システムは、さらに、前記提供者端末から送信された提供者情報を、前記サーバから読み書き可能に蓄積する提供者データベースを備え、

前記サーバは、前記提供者端末から提供者情報が送信された場合に、当該提供者情報を前記提供者データベースに格納し、当該提供者情報を送信した提供者端末に対し固有のネットワークアドレスを割り当て、当該ネットワークアドレスを指定させることにより当該提供者端末から参照される記憶領域に、当該提供者端末に参照させるためのファイルを生成して格納する請求項 1 に記載の取引仲介システム。

【請求項 3】 前記記憶領域にファイルを生成して格納する時期は、前記端末から前記情報が送信されてきた時である請求項 1 または請求項 2 のいずれか一項に記載の取引仲介システム。

【請求項 4】 前記記憶領域にファイルを生成して格納する時期は、予め定められた所定のタイミングである請求項 1 または請求項 2 のいずれか一項に記載の取引仲介システム。

【請求項 5】 当該取引仲介システムは、さらに、前記サーバから前記端末に情報を送信するためのインターフェース装置を備え、前記サーバは、前記端末へ所定の情報を送信する場合に指定する情報送信先アドレスを保持し、前記端末に参照させるための新たなファイルを生成した場合に、前記情報送信先アドレスを参照して、当該端末に対し、当該新たなファイルが生成された旨のメッセージを含む前記情報を送信する請求項 1 または請求項 2 のいずれか一項に記載の取引仲介システム。

【請求項 6】 当該取引仲介システムは、さらに、取引に対する利用者の要求情報を、当該要求の属性情報とともに、前記サーバから読み書き可能に蓄積する利用者属性データベースと、

利用者に提供可能な提供物件を示す提供物件情報を、当該提供物件の属性情報とともに、前記サーバから読み書き可能に蓄積する提供者属性データベースと、を備え、前記サーバは、前記利用者端末から前記要求情報が提供された場合には、当該要求の項目ごとに、各要求の属性を示す属性情報を生成し、前記利用者属性データベースに格納し、

前記提供者端末から前記提供物件情報が供給された場合には、当該提供物件ごとに、各提供物件の属性を示す属性情報を生成し、前記提供者属性データベースに格納する請求項 2 に記載の取引仲介システム。

【請求項 7】 前記サーバは、前記利用者端末に参照させるためのファイルを作成する場合に、前記利用者属性データベースに格納された属性情報と前記提供者属性データベースに格納された属性情報とを比較し、所定の条件に合致すると判断したときに、合致している属性情報に対応する前記提供物件情報を当該ファイルに含ませる請求項 6 に記載の取引仲介システム。

【請求項 8】 前記利用者端末に参照させるためのファイルは、当該利用者からの返答情報を入力可能に構成され、

当該取引仲介システムは、前記ファイルを参照する利用者端末から送信された前記返答内容を示す返答情報を、前記サーバから読み書き可能に蓄積するアクセス履歴データベースをさらに備え、

前記サーバは、前記ファイルを参照する利用者端末から前記返答情報が送信された場合に、当該返答情報を前記アクセス履歴データベースに格納し、当該返答情報も併せて、前記所定の条件に合致するか否かを判断する請求項 7 に記載の取引仲介システム。

【請求項 9】 前記利用者端末に参照させるためのファイルは、当該ファイルから他のファイルへ当該利用者端末が接続可能なネットワークアドレスを含めて構成され、

当該取引仲介システムは、さらに、前記利用者端末が前記ネットワークアドレスによって他のファイルに接続するたびに、当該接続の履歴を示したアクセス履歴情報を、前記サーバから読み書き可能に蓄積するアクセス履歴データベースを備え、

前記サーバは、前記利用者端末が他のファイルに接続するたびに、前記アクセス履歴情報を前記アクセス履歴データベースに格納し、当該アクセス履歴情報も併せて、前記所定の条件に合致するか否かを判断する請求項 7 に記載の取引仲介システム。

【請求項 10】 前記サーバは、前記提供者端末に参照させるためのファイルを作成する場合に、前記アクセス履歴データベースを参照し、当該提供者端末に係る属性情報について、前記所定の条件に合致したと判断した前記利用者端末に関する情報を当該ファイルに含ませる請求項 7 に記載の取引仲介システム。

【請求項11】 前記サーバは、前記提供者端末に参照させるためのファイルを作成する場合に、前記アクセス履歴データベースを参照し、前記所定の条件に合致したと判断した提供物件に関する他の提供者端末からの属性情報を当該ファイルに含ませる請求項7に記載の取引仲介システム。

【請求項12】 当該取引仲介システムは、取引に対する調達物件、調達提供者等を示した、前記利用者端末から送信された調達情報を、前記サーバから読み書き可能に蓄積する調達データベースと、

10 利用者に提供可能な提供物件を示す提供物件情報を、当該提供物件の属性情報とともに、前記サーバから読み書き可能に蓄積する提供者属性データベースと、をさらに備え、

前記サーバは、前記利用者端末に参照させるためのファイルを作成する場合に、前記調達データベースに格納された調達情報と前記提供者属性データベースに格納された属性情報とを比較し、所定の条件に合致すると判断した提供者端末に対し、当該提供者の提供する提供物件に対して引き合いがある旨の匿名の引き合い情報を、当該提供者端末に参照させるファイルに含ませる請求項2に記載の取引仲介システム。

【請求項13】 前記サーバは、前記匿名の引き合い情報を含ませたファイルを参照した前記提供者端末から、当該引き合い情報に対する返答である返答情報が送信された場合に、当該返答情報に対応する利用者端末に、当該返答情報を参照させるためのファイルを、当該返答情報を送信した提供者端末に関する情報を含ませて生成する請求項12に記載の取引仲介システム。

【請求項14】 利用者によって操作される1以上の利用者端末に対しネットワークを介して接続される第1サーバと、

所定の情報を前記サーバから読み書き可能に蓄積する第1データベースと、

前記第1データベースとネットワークを介して接続可能に構成された提供者が管理する第2サーバと、提供者の独自情報を前記第2サーバから読み書き可能に蓄積する第2データベースと、を備え、

前記第2サーバは、利用者情報を送信した利用者端末に対し固有のネットワークアドレスを割り当て、当該ネットワークアドレスを指定させることにより当該利用者端末から参照される記憶領域に、当該利用者端末に参照させるためのファイルを、前記第1データベースおよび前記第2データベースに格納された情報とともに参照しながら生成して格納する取引仲介システム。

【請求項15】 利用者によって操作される1以上の利用者端末に対しネットワークを介して接続される第1サーバと、
所定の情報を、前記サーバから読み書き可能に蓄積する第1データベースと、

前記第1データベースとネットワークを介して接続可能に構成された提供者が管理する第2サーバと、提供者の独自情報を前記第2サーバから読み書き可能に蓄積する第2データベースと、を備え、

前記第1サーバは、利用者情報を送信した利用者端末に対し固有のネットワークアドレスを割り当て、当該ネットワークアドレスを指定させることにより当該利用者端末から参照される記憶領域に、当該利用者端末に参照させるためのファイルを、前記第1データベースから読み取った情報および前記第2サーバ経由で前記第2データベースから読み取った情報とともに参照しながら生成して格納する取引仲介システム。

【請求項16】 前記第2サーバは、前記第2データベースを参照して前記利用者端末に参照させるための専用ファイルを生成し、

前記第1サーバは、当該利用者端末に参照させるためのファイルを作成する際に、当該ファイルの一部に前記第2サーバの生成した専用ファイルを取り込む請求項15に記載の取引仲介システム。

【請求項17】 電子メールを送受信可能に構成されたサーバにネットワークを介して接続される端末装置において、

所定のタイミングで、前記ネットワークとの間で電子メールの送受信が可能に構成されたインターフェース装置を制御して前記サーバに接続し、前記サーバに蓄積された電子メールを受信した後前記サーバとの接続を解除するインターフェース制御手段と、

前記サーバから受信した電子メールの内容をメモリに格納し、所定の操作がされた場合には、前記メモリから前記電子メールの内容を読み取って表示する電子メール表示手段と、を備えた端末装置。

【請求項18】 前記電子メール表示手段は、前記サーバから電子メールを受信した場合には、電子メールが着信した旨を示す表示をさらに行う請求項17に記載の端末装置。

【請求項19】 前記電子メール表示手段は、表示された電子メールに対し、利用者が回答情報を与えた場合には、この回答情報を一旦メモリに格納し、前記インターフェース制御手段は、前記回答情報がメモリに格納された後に前記サーバに接続した際に、前記メモリに格納された回答情報を前記サーバに送信可能に構成された請求項17に記載の端末装置。

【請求項20】 利用者によって操作される1以上の利用者端末に対してサーバがネットワークを介して接続され、前記利用者端末から所定のネットワークアドレスを送信することにより当該ネットワークアドレスによって特定されるサーバに接続可能に構成された情報送受信システムにおいて、

前記サーバは、前記利用者端末からのネットワークアドレスにより接続された場合に、当該ネットワークアドレ

スに含まれる所定の識別子を検出し、当該識別子によりアドレス情報文字列と区別されるネットワークアドレス中の特定文字列を当該ネットワークアドレスを送信した利用者端末の属性情報として処理する情報送受信システム。

【請求項21】 利用者によって操作される1以上の利用者端末とサーバとがネットワークを介して相互に接続される取引仲介管理方法であって、前記利用者端末から利用者情報が送信された場合に、前記利用者端末から送信された利用者情報を利用者データベースに格納するステップと、当該利用者情報を送信した利用者端末に対し固有のネットワークアドレスを割り当てるステップと、当該ネットワークアドレスを指定させることにより当該利用者端末から参照される記憶領域に、当該利用者端末に参照させるためのファイルを生成して格納するステップと、を備える取引仲介管理方法。

【請求項22】 前記サーバが、提供者によって操作される1以上の提供者端末に対し前記ネットワークを介してさらに接続される請求項21に記載の取引管理方法であって、

前記提供者端末から提供者情報が送信された場合に、前記提供者端末から送信された提供者情報を提供者データベースに格納するステップと、

当該提供者情報を送信した提供者端末に対し固有のネットワークアドレスを割り当てるステップと、

当該ネットワークアドレスを指定させることにより当該提供者端末から参照される記憶領域に、当該提供者端末に参照させるためのファイルを生成して格納するステップと、を備えた取引仲介管理方法。

【請求項23】 前記端末に参照させるための新たなファイルを生成した場合に、予め保持された当該端末への情報送信先アドレスを参照して、当該端末に対し、当該新たなファイルが生成された旨のメッセージを含む前記情報を送信するステップをさらに備える請求項21または請求項22のいずれか一項に記載の取引仲介管理方法。

【請求項24】 前記利用者端末に参照させるためのファイルを作成する場合に、利用者属性データベースに格納された属性情報と提供者属性データベースに格納された属性情報とを比較するステップと、当該比較結果が所定の条件に合致すると判断したときに、合致している属性情報に対応する前記提供物件情報を前記ファイルに含ませるステップと、をさらに備える請求項21に記載の取引仲介管理方法。

【請求項25】 前記利用者端末に参照させるためのファイルは、当該ファイルから他のファイルへ当該利用者端末が接続可能に構成され、前記利用者端末が他のファイルに接続するたびに、前記アクセス履歴情報をアクセス履歴データベースに格納す

るステップをさらに備え、

前記比較するステップは、アクセス履歴データベースに格納されたアクセス履歴情報も併せて、前記所定の条件に合致するか否かを判断する請求項24に記載の取引仲介管理方法。

【請求項26】 前記利用者端末に参照させるためのファイルを作成する場合に、調達データベースに格納された調達情報と提供者属性データベースに格納された属性情報とが所定の条件に合致するか否かを比較するステップと、

前記所定の条件に合致すると判断した提供者端末に対し、当該提供者の提供する提供物件に対して引き合いがある旨の匿名の引き合い情報を、当該提供者端末に参照させるファイルに含ませるステップと、を備える請求項21に記載の取引仲介管理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネット等のネットワークを利用して製品の取引を行うための取引仲介システムに係わる。特に、このシステムは、コンピュータ機器のように専門性が高く高額な製品を取り引きする場合に、個人会員である利用者および物件を提供するメーカ等である提供者の双方に便宜なシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】インターネットが急速に普及したことにより、利用者は、ワールド・ワイド・ウェブ (World Wide Web: 以下WWWと略す) というインターネット上のシステムを利用して、任意のウェブサイト (web site) から文字情報、画像情報および音声情報を取得できるようになった。最近では、インターネットを介してメーカが独自に開設したウェブサイト上で製品を広告し、これを見た利用者にインターネットを介して製品を販売するという、インターネットビジネスが盛んである。

【0003】製品に関する情報をネットワーク経由で提供する場合、メーカは、製品情報を含んだハイパーテキスト形式のファイルを生成し、それをサーバ上に割り当てられた所定のウェブサイト (Universal Resource Locator) にメディアを介してインターネット上のネットワークアドレスであるURL (Universal Resource Locator) を知らせたり、このURLをインターネット上の検索サービスに登録したりする。

【0004】特定のメーカのウェブサイト (web site) に接続するために、利用者は、インターネットに接続されたコンピュータ等の端末装置 (以下、「利用者端末」と称する) からこのメーカが開設しているウェブサイトのURLを指定する。利用者端末がこのウェブサイトに接続すると、ハイパーテキスト形式のファイルが利用者端末に提供される。ハイパーテキスト形式のファイルを開覧するためのソフトウェアであるWWWブラウザを利用して、利用

者端末では、その表示画面であるウェブページをディスプレイに表示させることができる（以下これらの処理を「リンクする」と称する）。このウェブサイトは複数の利用者端末から閲覧される。

【0005】ところで、従来の商品販売において、メーカーから需要者への一方的なマスマーケティングが行われていた。マスマーケティングは商品シェアの獲得を一義的なものとし、メーカーから消費者への一方的な広告や商品供給が行われるものであった。

【0006】ところが、コンピュータ関連分野における製品は、数ある商品群の中でも特に専門性が高く高価である。このような高額かつ専門性の高い製品分野では、メーカーたる提供者は、販売対象となる利用者である見込み客を正確に把握する必要がある。さらに把握した見込み客の要望を十分に吸い上げるため、見込み客との一対一の継続的なコミュニケーションも必要とされる。

【0007】しかしながら、メーカーはマスマーケティングに代わる効果的なマーケティング方法を持っていなかった。

【0008】一方、利用者は自らの要求がメーカーの提供する製品と合致するか否かを他の製品以上に詳細に検討する必要があったが、高度に細分化し、新製品情報も膨大なコンピュータ関連分野等では、利用者が限られた時間で総ての物件についての情報を効率的にもれなく検討することが困難であった（以下、購入の対象となる製品やシステム等を「物件」と称する）。

【0009】近年では、インターネットビジネスが盛んになったので、インターネットを介しての商品取引も行われるようになったが、上記各課題が解決されることはなかった。

【0010】

【発明が解決しようとする課題】そこで、本発明は上記事情に鑑み、コンピュータ関連機器等の専門性が高い物件の取引にあたり、提供者が見込み客となる利用者を正確に把握することを可能にし、かつ利用者との一対一のコミュニケーションを可能とすることにより、提供者および利用者双方に便宜な取引仲介システムを提供することを目的とする。

【0011】すなわち、本発明の第1の課題は、端末から情報が提供された場合に、端末から個別に参照可能なネットワークアドレスを生成して固有の情報を提供可能に構成することにより、個々の端末からの多様な要求に合致した取引仲介を可能とすることである。

【0012】本発明の第2の課題は、一方の端末から新たな情報が提供された場合に、他方の端末にその旨をメッセージで知らせるように構成することにより、新商品情報等の新規な情報を迅速に伝達する取引仲介を可能とすることである。

【0013】本発明の第3の課題は、利用者からの多様な要求と提供者から提供される提供物件に関する情報と

をデータベース等を利用して相互に比較し、双方が合致している場合取引を仲介するように構成することにより、利用者および提供者双方について納得のいく取引仲介を可能とすることである。

【0014】本発明の第4の課題は、複数の利用者や他の提供者からのアクセス情報を、提供者に提供可能な構成することにより、提供者においてマーケットリサーチ等が容易に行える取引仲介を可能とすることである。

【0015】本発明の第5の課題は、利用者が自らの要求に応じることのできる提供者を検索するにあたり、自らを匿名にしつつ提供者からの情報入手可能に構成することにより、利用者が納得いくまで検討を行うことのできる取引仲介を可能とすることである。

【0016】本発明の第6の課題は、提供者が独自にデータベースを備えている場合に、システムが備える豊富な情報が蓄積されたデータベースを利用可能に構成することにより、提供者がシステムの提供する資源を有効に利用可能とすることである。

【0017】本発明の第7の課題は、提供者が独自にデータベースを備えている場合に、当該提供者が提供したい専用の情報を含めた情報の提示を可能に構成することにより、提供者が独自に作成した情報を有効に利用者に提供可能とすることである。

【0018】本発明の第8の課題は、利用者端末でネットワークに接続していない場合でも情報の着信を利用者に知らせるように構成することにより、ネットワークから迅速に情報取得を可能とすることである。

【0019】本発明の第9の課題は、ネットワーク上で一つのサーバから他のサーバへ接続変更をする際に、利用者の属性情報を引継げるように構成することにより、一のシステムが管理するウェブページから他のシステムのウェブページへリンクする場合にも、再度属性情報の入力を不要とすることである。

【0020】

【課題を解決するための手段】上記第1の課題を解決する発明は、利用者によって操作される1以上の利用者端末に対しネットワークを介して接続されるサーバと、利用者端末から送信された利用者情報を、サーバから読み書き可能に蓄積する利用者データベースと、を備える。そして、サーバは、利用者端末から利用者情報が送信された場合に、当該利用者情報を利用者データベースに格納し、当該利用者情報を送信した利用者端末に対し固有のネットワークアドレスを割り当て、当該ネットワークアドレスを指定させることにより当該利用者端末から参照される記憶領域に、当該利用者端末に参照させるためのファイルを生成して格納する。

【0021】さらに、本発明において、サーバは、提供者によって操作される1以上の提供者端末に対しネットワークを介して接続され、当該取引仲介システムは、さらに、提供者端末から送信された提供者情報を、サーバ

から読み書き可能に蓄積する提供者データベースを備える。そして、サーバは、提供者端末から提供者情報が送信された場合に、当該提供者情報を提供者データベースに格納し、当該提供者情報を送信した提供者端末に対し固有のネットワークアドレスを割り当て、当該ネットワークアドレスを指定させることにより当該提供者端末から参照される記憶領域に、当該提供者端末に参照させるためのファイルを作成して格納する。

【0022】ここで、上記記憶領域にファイルを作成して格納する時期としては、端末から情報が送信されてきた時であることが好ましい。すなわち新たな情報が供給されたらその内容に応じてファイルを作成し、格納するのである。

【0023】また、この時期としては、予め定められた所定のタイミングであってもよい。このタイミングとは、例えば一日に一度等、サーバに予めバッチファイル等によって設定されるものである。サーバはこのタイミングになるとデータベースを検索して、新たな情報が格納されたものについてファイルの内容を更新することになる。

【0024】上記第2の課題を解決する発明は、さらに、サーバから端末に情報を送信するためのインターフェース装置を備える。そして、サーバは、所定の情報を送信する場合に指定する情報送信先アドレスを保持し、端末に参照させるための新たなファイルを作成した場合に、情報送信先アドレスを参照して、当該端末に対し、当該新たなファイルが生成された旨のメッセージを含む情報を送信する。

【0025】なお、インターフェース装置としては、モデム、ターミナルアダプタ、ルータ、ファックス装置、ファックスネットワーク等、ネットワークとコンピュータ装置とを接続可能な装置、指定されたファックス番号あるいは会員番号に対し、ファックスを自動送出するファックス装置あるいはファックスネットワークサービス、指定されたアドレスあるいは会員番号に対し、郵便を自動発送可能なメール装置等種々の装置を適用することが可能である。また、情報送信先アドレスとは例えば電子メールアドレスのようなものをいう。

【0026】上記第3の課題を解決する発明は、さらに、取引に対する利用者の要求情報を、当該要求の属性情報とともに、サーバから読み書き可能に蓄積する利用者属性データベースと、利用者に提供可能な提供物件を示す提供物件情報を、当該提供物件の属性情報とともに、サーバから読み書き可能に蓄積する提供者属性データベースと、を備える。そしてサーバは、利用者端末から要求情報が提供された場合には、要求の項目ごとに、各要求の属性を示す属性情報を生成し、利用者属性データベースに格納し、提供者端末から提供物件情報が供給された場合には、提供物件ごとに、各提供物件の属性を示す属性情報を生成し、提供者属性データベースに格納

する。

【0027】また、サーバは、利用者端末に参照させるためのファイルを作成する場合に、利用者属性データベースに格納された属性情報と提供者属性データベースに格納された属性情報とを比較し、所定の条件に合致すると判断したときに、合致している属性情報に対応する提供物件情報を当該ファイルに含ませる。

【0028】また、本発明は、利用者端末に参照させるためのファイルは、当該利用者からの返答情報を入力可能に構成され、当該取引仲介システムは、さらに、ファイルを参照する利用者端末から送信された返答内容を示す返答情報を、サーバから読み書き可能に蓄積するアクセス履歴データベースを備える。そして、サーバは、ファイルを参照する利用者端末から返答情報が送信された場合に、当該返答情報をアクセス履歴データベースに格納し、当該返答情報も併せて、所定の条件に合致するかどうかを判断する。

【0029】また、利用者端末に参照させるためのファイルは、当該ファイルから他のファイルへ当該利用者端末が接続可能なネットワークアドレスを含めて構成され、当該取引仲介システムは、さらに、利用者端末がネットワークアドレスによって他のファイルに接続するたびに、当該接続の履歴を示したアクセス履歴情報を、サーバから読み書き可能に蓄積するアクセス履歴データベースを備える。そして、サーバは、利用者端末が他のファイルに接続するたびに、アクセス履歴情報をアクセス履歴データベースに格納し、当該アクセス履歴情報も併せて、所定の条件に合致するかどうかを判断する。

【0030】上記第4の課題を解決する発明では、サーバは、提供者端末に参照させるためのファイルを作成する場合に、アクセス履歴データベースを参照し、当該提供者端末に係る属性情報について、所定の条件に合致したと判断した利用者端末に関する情報を当該ファイルに含ませる。

【0031】また、サーバは、提供者端末に参照させるためのファイルを作成する場合に、アクセス履歴データベースを参照し、所定の条件に合致したと判断した提供物件に関する他の提供者端末からの属性情報を当該ファイルに含ませる。

【0032】上記第5の課題を解決する発明は、さらに、取引に対する調達物件、調達提供者等を示した、利用者端末から送信された調達情報を、サーバから読み書き可能に蓄積する調達データベースと、利用者に提供可能な提供物件を示す提供物件情報を、当該提供物件の属性情報とともに、サーバから読み書き可能に蓄積する提供者属性データベースと、を備える。そして、サーバは、利用者端末に参照させるためのファイルを作成する場合に、調達データベースに格納された調達情報と提供者属性データベースに格納された属性情報とを比較し、所定の条件に合致すると判断した提供者端末に対し、当

該提供者の提供する提供物件に対して引き合いがある旨の匿名の引き合い情報を、当該提供者端末に参照させるファイルに含ませる。

【0033】また、サーバは、匿名の引き合い情報を含ませたファイルを参照した提供者端末から、当該引き合い情報に対する返答である返答情報が送信された場合に、当該返答情報に対応する利用者端末に、当該返答情報を参照させるためのファイルを、当該返答情報を送信した提供者端末に関する情報を含ませて生成する。

【0034】上記第6の課題を解決する発明は、利用者によって操作される1以上の利用者端末に対しネットワークを介して接続される第1サーバと、所定の情報を、サーバから読み書き可能に蓄積する第1データベースと、第1データベースとネットワークを介して接続可能に構成された提供者が管理する第2サーバと、提供者の独自情報を第2サーバから読み書き可能に蓄積する第2データベースと、を備える。そして、第2サーバは、利用者情報を送信した利用者端末に対し固有のネットワークアドレスを割り当てる。さらに、当該ネットワークアドレスを指定させることにより当該利用者端末から参照される記憶領域に、当該利用者端末に参照させるためのファイルを、第1データベースおよび第2データベースに格納された情報とともに参照しながら生成して格納する。

【0035】上記第7の課題を解決する発明は、利用者によって操作される1以上の利用者端末に対しネットワークを介して接続される第1サーバと、所定の情報を、サーバから読み書き可能に蓄積する第1データベースと、第1データベースとネットワークを介して接続可能に構成された提供者が管理する第2サーバと、提供者の独自情報を第2サーバから読み書き可能に蓄積する第2データベースと、を備える。そして、第1サーバは、利用者情報を送信した利用者端末に対し固有のネットワークアドレスを割り当てる。さらに、当該ネットワークアドレスを指定させることにより当該利用者端末から参照される記憶領域に、当該利用者端末に参照させるためのファイルを、第1データベースから読み取った情報および第2サーバ経由で第2データベースから読み取った情報をともに参照しながら生成して格納する。

【0036】ここで、第2サーバは、第2データベースを参照して利用者端末に参照させるための専用ファイルを生成し、第1サーバは、当該利用者端末に参照させるためのファイルを作成する際に、当該ファイルの一部に第2サーバの生成した専用ファイルを取り込むよう構成してもよい。

【0037】上記第8の課題を解決する発明は、電子メールを送受信可能に構成されたサーバにネットワークを介して接続される端末装置において、所定のタイミングで、ネットワークとの間で電子メールの送受信が可能に構成されたインターフェース装置を制御してサーバに接

続し、サーバに蓄積された電子メールを受信した後サーバとの接続を解除するインターフェース制御手段と、サーバから受信した電子メールの内容をメモリに格納し、所定の操作がされた場合には、メモリから電子メールの内容を読み取って表示する電子メール表示手段と、を備える。

【0038】ここで、電子メール表示手段は、サーバから電子メールを受信した場合には、電子メールが着信した旨を示す表示をさらに行う。

【0039】また電子メール表示手段は、表示された電子メールに対し、利用者が回答情報を与えた場合には、この回答情報を一旦メモリに格納し、インターフェース制御手段は、回答情報がメモリに格納された後にサーバに接続した際に、メモリに格納された回答情報をサーバに送信可能に構成される。

【0040】上記第9の課題を解決する発明は、利用者によって操作される1以上の利用者端末に対してサーバがネットワークを介して接続され、利用者端末から所定のネットワークアドレスを送信することにより当該ネットワークアドレスによって特定されるサーバに接続可能に構成された情報送受信システムにおいて、サーバは、利用者端末からのネットワークアドレスにより接続された場合に、当該ネットワークアドレスに含まれる所定の識別子を検出し、当該識別子によりアドレス情報文字列と区別されるネットワークアドレス中の特定文字列を、当該ネットワークアドレスを送信した利用者端末の属性情報として処理する。

【0041】上記第1の課題を解決する発明は、利用者によって操作される1以上の利用者端末とサーバとがネットワークを介して相互に接続される取引仲介管理方法であって、利用者端末から利用者情報が送信された場合に、利用者端末から送信された利用者情報を利用者データベースに格納するステップと、当該利用者情報を送信した利用者端末に対し固有のネットワークアドレスを割り当てるステップと、当該ネットワークアドレスを指定させることにより当該利用者端末から参照される記憶領域に、当該利用者端末に参照させるためのファイルを生成して格納するステップと、を備える。

【0042】また、サーバが、提供者によって操作される1以上の提供者端末に対しネットワークを介してさらに接続される取引管理方法であって、提供者端末から提供者情報が送信された場合に、提供者端末から送信された提供者情報を提供者データベースに格納するステップと、当該提供者情報を送信した提供者端末に対し固有のネットワークアドレスを割り当てるステップと、当該ネットワークアドレスを指定させることにより当該提供者端末から参照される記憶領域に、当該提供者端末に参照させるためのファイルを生成して格納するステップと、を備える。

【0043】上記第2の課題を解決する発明は、端末に

参照させるための新たなファイルを作成した場合に、端末に情報を送信する場合に指定する情報送信先アドレスを参照して、当該端末に対し、当該新たなファイルが生成された旨のメッセージを含む情報を送信するステップをさらに備える。

【0044】上記第3の課題を解決する発明は、利用者端末に参照させるためのファイルを作成する場合に、利用者属性データベースに格納された属性情報と提供者属性データベースに格納された属性情報とを比較するステップと、当該比較結果が所定の条件に合致すると判断したときに、合致している属性情報に対応する提供物件情報をファイルに含ませるステップと、をさらに備える。

【0045】上記第4の課題を解決する発明は、利用者端末に参照させるためのファイルは、当該ファイルから他のファイルへ当該利用者端末が接続可能に構成され、利用者端末が他のファイルに接続するたびに、アクセス履歴情報をアクセス履歴データベースに格納するステップをさらに備え、比較するステップは、アクセス履歴データベースに格納されたアクセス履歴情報も併せて、所定の条件に合致するか否かを判断する。

【0046】上記第5の課題を解決する発明は、利用者端末に参照させるためのファイルを作成する場合に、調達データベースに格納された調達情報と提供者属性データベースに格納された属性情報とが所定の条件に合致するか否かを比較するステップと、所定の条件に合致すると判断した提供者端末に対し、当該提供者の提供する提供物件に対して引き合いがある旨の匿名の引き合い情報を、当該提供者端末に参照させるファイルに含ませるステップと、を備える。

【0047】

【発明の実施の形態】次に、本発明の好適な実施の形態を、図面を参照して説明する。

【0048】（実施形態1）本発明の実施形態1は、顧客が操作する利用者端末と、メーカ等が操作する提供者端末とが、管理者の管理するサーバに接続するシステムに関する。

【0049】（ネットワーク構成）図1に、本実施形態の取引仲介システムの構成図を示す。同図に示すように、本実施形態の取引仲介システムは、インターネット1に、利用者端末21～2m（mは任意の自然数）、提供者端末31～3n（nは任意の自然数）、データベース群4および管理者システム5を相互に接続して構成されている。ここで、商品やシステム等の物件を購入したいと考える利用者が利用者端末2x（xは1からmまでの任意の数）を使用し、この利用者に物件を販売したいと考えるメーカが提供者端末3y（yは1からnまでの任意の数）を使用するものとする。

【0050】インターネット1は、利用者端末2x、提供者端末3yおよび管理者システム5を、いわゆるプロバイダーと呼ばれる接続業者の設備またはパソコン通信

業者の設備により、公衆回線を介して相互に接続可能に構成されている。その通信プロトコルは、TCP/IP技術による。公衆回線は、加入者回線であっても専用線であってもよい。利用者端末2xおよび提供者端末3yからは、WWWシステムを利用して、WWW上の任意のウェブサイトを選択するURLを指定することにより、どの端末からでもそのウェブサイトを提供されるウェブページを参照することが可能に構成されている。例えば、各利用者端末2xは、個々の利用者にそれぞれ割り当てられる利用者ウェブサイトへ接続可能であり、各提供者端末3yは、商品やシステム等の物件を提供するメーカにそれぞれ割り当てられる提供者ウェブサイトへ接続可能に構成されている。

【0051】上記利用者ウェブサイトおよび提供者ウェブサイトは、管理者システム5のサーバ503が管理する固定ディスク内に設定されるが、管理者システム5から直接管理可能であれば、任意のプロバイダが管理するサーバの固定ディスク中に格納することも可能である。

【0052】なお、各端末を相互に接続するネットワークは、インターネット類似の機能を有するものであれば、他の規格の専用回線網、WAN等のネットワークであってもよい。また、公衆回線を利用しないLANで構成されるイントラネットのようなネットワークであってもよい。

【0053】利用者端末2xおよび提供者端末3yは、パーソナルコンピュータシステムであって、それぞれがコンピュータ装置201およびディスプレイ装置202を備えて構成されている。コンピュータ装置201は、汎用のコンピュータ装置であって、内部に、図示しないCPU、通信インターフェース回路、モデム回路、描画回路、RAM、ROM、固定ディスク等を備え、モデム回路あるいはDSU及びTAを使用することにより、加入者回線または専用回線を介してインターネット1へ接続可能に構成されている。ディスプレイ装置202は、コンピュータ装置201から出力された映像信号をその表示面に表示可能に構成されている。コンピュータ装置201は、ハイパーテキスト形式、例えばHTML（Hypertext Markup Language）形式のファイルを閲覧するためのプログラムである、いわゆるWWWブラウザを起動可能である。そして利用者がこのWWWブラウザを使用して任意のURLを指定することで、インターネット1上のサーバコンピュータのウェブサイトに接続し、そのウェブページを表示等することが可能に構成されている。

【0054】管理者システム5は、コンピュータ装置501、ディスプレイ装置502およびサーバ503を備えている。コンピュータ装置501とディスプレイ装置502については、上記利用者端末におけるコンピュータ装置201およびディスプレイ装置202と同様である。

【0055】サーバ503は、内部に、図示しないCPU、RAM、ROM、固定ディスク等を備える。特に、固定ディスク等に格納されたプログラムデータをCPUが実行することにより、本発明の取引仲介システムとして、機能可能に構成されている。すなわち、任意のハイパーテキストファイルを生成し、このファイルを個人ウェブサイトや提供者ウェブサイト等に格納可能に構成されている。これらファイルの格納場所は、特有のURLが割り当てられる。したがって、利用者端末2xや提供者端末3yは、この特有のURLを指定して、サーバ503が管理するウェブサイトを参照可能な構成となっている。

【0056】データベース群4は、利用者データベース401、提供者データベース402、利用者属性データベース403、提供者属性データベース404、アクセス履歴データベース405および調達データベース406により構成されている。各データベースは、一つの記憶装置を複数の領域に分割して使用されるものでも、別個の記憶装置にそれぞれ設けられるものでもよい。また、データベース群4はサーバ503が内部バスを通じて直接アクセス可能な記憶装置上に配置されるものでも、サーバ503と別の記憶装置に配置されるものでもよい。また、インターネットを介して直接管理可能であれば、ネットワーク上のいずれのサーバ内に配置されるものであってもよい。各データベースの管理は、一つのサーバによる集中管理方式によっても複数のコンピュータ装置による分散処理方式によってもよい。

【0057】電子メールインターフェース6は、サーバ503に接続され、サーバからインターネット1を介して利用者端末2xまたは提供者端末3yに電子メールを送信するためのインターフェースとして機能可能に構成されている。

【0058】ファックスインターフェース7は、サーバ503に接続され、サーバから加入者回線または専用回線を介してファクシミリ送信するためのインターフェースとして機能可能に構成されている。

【0059】また、ファックスインターフェース7は、ファックス送信に関する総合サービスを提供可能に構成されたファックスネットワークサービスに接続可能に構成してもよい。このファックスネットワークサービスは、ファックス送付先アドレスを複数格納したデータベースに接続され、複数の顧客のファックス装置に同一の情報を一時に送信可能に構成されたものである。

【0060】メール装置8は、指定された住所に対する郵便物を、指定された内容の書面をパッケージして自動送付可能に構成された装置である。サーバ503がデータベース群4を参照して、送付先の利用者住所、印刷内容を指定することにより、自動的に郵便物が発送可能に構成されている。

【0061】なお、以下に説明するウェブページにはハ

イパーリンクが設定されており、ウェブページ上のいずれかのアイコンを選択すると、そのアイコンに設定されたURLにしたがって、次のウェブページが表示される。ハイパーリンクとは、ウェブページに特殊な仕様が記載されたリンク先のURLであり、ハイパーリンクが設定されたURLをマウス等で選択すると、WWWブラウザにこのURLが読み取られ、このURLのウェブページにリンク可能に設定されている。これら複数のウェブページを表示させるためのハイパーテキスト形式のファイル群は、サーバ503の管理する固定ディスク上にディレクトリからなる階層構造で格納されるものである。

【0062】(データベース構成)図2に、本取引仲介システムにおける各データベースの関連図を示す。

【0063】利用者データベース401は、当該取引仲介システムを利用する利用者(企業の購入担当者等)に関する基本情報を格納するものである。利用者管理番号をキーとして、利用者ID、パスワード、利用者氏名、ふりがな、生年月日、性別、勤務先、拠点名、所属、役職、住所、URL、電子メールアドレス、電話番号、ファックス番号、希望する通信手段等の各フィールドから構成されるレコードを、利用者ごとに格納して構成されている。

【0064】利用者管理番号は、利用者一人に対し一つ割り当てられる固有の番号である。同一の勤務先であっても利用者が異なる場合には、異なる利用者管理番号が割り当てられる。利用者IDおよびパスワードは、利用者の認証に用いるデータであり、利用者IDはサーバが利用者ごとに割り当て、パスワードは原則利用者から指定されるものである。利用者氏名、ふりがな、生年月日および性別は利用者の個人情報である。勤務先は利用者の所属する企業名、拠点名は支社、支店、営業所、工場、研究所等の別、所属部署は利用者の所属する部署名、役職は利用者の役職である。URLは、利用者により個別に割り当てた利用者ウェブサイトを特定するネットワークアドレスである。電子メールアドレスは、サーバ503が電子メールインターフェース6を介して利用者端末に情報を伝達するためのアドレスである。希望する通信手段とは、利用者への連絡を、電子メールを通じて行うか、ファックスで行うか、メール装置を介した郵送で行うか等の種別を特定するためのものである。

【0065】提供者データベース402は、当該取引仲介システムを介して物件を販売したいメーカに関する基本情報を格納するものである。提供者管理番号をキーとして、提供者ID、パスワード、会社名、担当部署、役職、担当者名、ふりがな、住所、電話番号、ファックス番号、URL、電子メールアドレス等の各フィールドから構成されるレコードを、提供者ごとに格納して構成される。

【0066】提供者管理番号は、一の提供者に対して一

つ割り当てられる固有の番号である。同一メーカーでも担当部署や担当者が異なる場合には、異なる提供者管理番号が割り当てられるものである。提供者IDおよびパスワードは、担当者の認証に用いるデータであり、提供者IDはサーバが提供者ごとに割り当て、パスワードは提供者から指定されるものである。担当者名は、提供者端末を操作する担当者の氏名である。会社名は提供主体となるメーカー名、所属部署は提供担当者の所属する部署名である。役職および担当者名は提供者において直接システム処理を担当する担当者の役職と氏名である。URLは、10 提供者のために特別に割り当てた提供者ウェブサイトを持定するネットワークアドレスである。電子メールアドレスは、サーバ503が電子メールインターフェース6を介して提供者端末に情報を伝達するためのアドレスである。

【0067】利用者属性データベース403は、物件に対する利用者の要求を含む属性情報を格納するものであり、例えば、プロダクトリクエスト群、ソリューションリクエスト群、プロフィール情報群等のフィールド群から構成されるレコードを利用者ごとに格納して構成され20 ている。

【0068】提供者属性データベース404は、提供者が提供可能な物件に関する属性情報を格納するものであり、提供者管理番号をキーとして、物件管理番号、製品情報群、属性情報群等の各フィールドから構成されるレコードを、提供者ごとに格納して構成されている。

【0069】物件管理番号は、一つの製品やシステムについて一つ与えられる番号である。製品情報群は、例えば、製品名、タイトル、製品仕様、提供価格、利点、アンケート情報、納期および製品の画像情報へのリンク情報等のフィールドによって構成されている。属性情報群は、そのレコードの物件に関する属性を記録するものであり、ハードウェア、ソフトウェア、インターネット/イントラネット、ソリューション等の項目について記録される。

【0070】アクセス履歴データベース405は、利用者が利用者ウェブサイトをもどのように利用したのかについての履歴を記録するデータベースである。利用者管理番号をキーとして、リンク日時、リンクしたウェブページの属性（等を記録する。

【0071】リンク日時は、ウェブページにリンクした日付を記録するフィールドである。ウェブページの属性群は、リンクしたウェブページのURL、アンケートに対する返答情報、ウェブページが掲載している物件の物件管理番号、ウェブページを提供した手依頼者の提供者管理番号等が記録されるフィールド群である。利用者が新たなウェブページにリンクするたびに、新たなレコードが作成され、利用者がそのウェブページのアンケートに返答すると返答情報が記録される。

【0072】調達データベース406は、利用者が製品 50

の調達を希望する場合に、その内容を登録するためのデータベースである。登録番号をキーとして、利用者管理番号、登録日、登録内容、調達詳細、希望予算、希望納期、提供者管理番号、調達フラグ、削除フラグ、匿名フラグ、返答フラグ、返答情報等の各フィールドから構成されるレコードを、調達行為ごとに格納する。

【0073】登録番号は、調達を持定する番号で、登録日はその期日である。登録内容は、調達に係る技術分野、例えば、LANイントラネット関連か、システム開発依頼か、電子営業ツールか等の種別である。コンテンツ番号は、提供物件の各々を持定する番号であり、希望予算は利用者の希望予算であり、希望納期は製品の希望納期である。調達フラグは、利用者が提供者に対して調達要求したか否かを示すフラグである。削除フラグは、そのレコードが削除されたものか否かを示すフラグである。匿名フラグは、利用者が調達情報を提供者に匿名にしておくか公開するかを決めるフラグである。返答フラグは、提供者が調達依頼に応えたか否かを示すフラグである。返答情報は、提供者において入力された返答の内容が格納されるフィールド群である。

【0074】コンテンツデータベース407は、提供者が提供する製品（提供物件）に関する情報を格納するためのデータベースである。コンテンツ番号をキーとして、コンテンツ内容、アンケート情報等の各フィールドから構成されるレコードを格納して構成される。

【0075】コンテンツ番号は、上記したように提供物件の特定番号である。コンテンツ内容は、具体的な提供物件の内容、すなわちタイトル、説明、仕様、予定価格、発売時期、保証内容、登録日、オプション、写真情報、コンテンツ情報にリンクするためのURL等を格納するフィールド群である。URLは、このデータベースに格納される内容に基づいて作成されたハイパーテキスト形式のファイルを持定するネットワークアドレスである。利用者や提供者が端末よりこのURLを指定すると、コンテンツ情報をWWWブラウザで閲覧可能に表示させることができる。アンケート情報は、提供者が利用者に提供したいアンケートのための情報である。

【0076】（処理手順）次に、上記データベースを備えた本取引仲介システムの処理を説明する。以下の説明では、説明を理解し易くするため、一台の利用者端末と一台の提供者端末とがインターネットに接続するものとして説明するが、複数台の端末が同時に接続していても、各端末ごとの処理は、一台の端末が接続している場合と同様に考えることができる。

【0077】まず、本取引仲介システムにおける処理の概要を、図30を参照して説明する。最初、利用者および提供者は上記のように登録用紙等を用いて自らが要求する内容を記入する（S1）。サーバ503は、この登録用紙に基づいて、利用者属性データベース403および提供者属性データベース404への登録を行う（S

2)。サーバ503は、利用者属性データベース403と提供者属性データベース404とを比較して、各利用者が要求していると思われる提供者の情報を含めたハイパーテキスト形式のファイルを利用者ウェブサイトに登録する。利用者はこのファイルにアクセスし、自分の要求する情報を検索する(S3)。アクセスした履歴やアンケート情報は、アクセス履歴データベース405に格納される。このアクセス履歴は、サーバ503によって検索され、より利用者の要求にあった情報の提供、提供者に対する利用者アクセス状況の公表、利用者の調達要求への対応等の評価が行われる(S4)。

【0078】次に、これらの処理を、図3のフローチャートに基づいて具体的に説明する。

【0079】登録処理

登録処理は、管理者が利用者および提供者の双方から必要な情報を集めてデータベースに登録する動作をいう。

【0080】ステップST1(会員登録)： まず登録用紙を用いて登録する方法について説明する。まず、利用者は、管理者から配布される登録用紙に必要事項を記入してファックス等で管理者に送付する。管理者は、この登録用紙に基づいて、管理者システム5が管理するデータベース群4への登録を行う。

【0081】例えば、利用者の個人情報とは、図4に示すような記入欄に利用者によって記入され、その内容が新たに生成された利用者管理番号とともに利用者データベース401に格納される。

【0082】プロダクトリクエスト群については、図5に示すような記入欄に利用者によって記入される。この記入欄では、利用者は情報を入手したい分野に該当している欄をチェックする。管理者はこの記入欄に記録された内容をコード化して利用者属性データベース403に登録する。

【0083】同様に、ソリューションリクエスト群は、利用者が問題解決したいと考えている技術内容について、図6に示すような記入欄に記入される。プロフィール情報群は、図7に示すような記入欄に利用者によって記入される。各フィールドに入力されるデータ形式は、フィールドの性質に応じてYES/NO型あるいはテキスト型等が適宜選ばれる。

【0084】次に、ウェブページから利用者に登録をさせる場合の手順を説明する。まず、利用者は、利用者端末2xを使用してWWWブラウザを起動し、WWWブラウザのURL指定欄に、本取引仲介システムの会員登録をするためのウェブサイトへリンクさせるURLを入力する。このURLによりサーバ503とこの利用者端末2xとが接続される。そしてサーバ503の管理する会員登録のためのウェブサイトから利用者端末2xのWWWブラウザにハイパーテキスト形式のファイルが読み込まれる。

【0085】利用者端末2xには、図8に示すような会

員登録のためのウェブページが表示される。利用者は、新規会員登録のための項目欄8aを記入し、会社の業種欄8b、担当業務欄8c等をチェックし、希望するパスワードを所定欄8dに入力する。そして記入した内容を確認した上で「登録」アイコン8eを選択する。

【0086】サーバ503は、利用者端末2xから送信されてきた内容を利用者データベース401に格納し、他の利用者のパスワードと一致するパスワードが無ければ、利用者IDを生成しパスワードとともに格納する。そして図9に示すような利用者IDとパスワードを利用者に確認させるためのウェブページにリンクさせる。

【0087】ステップST2(利用者専用URL発行)： 以上の方法により、利用者情報および利用者属性情報が登録されると、利用者へ利用者専用のウェブページのURLが生成される。提供者はこれを利用者に伝達する。例えば、ファックスによる登録を行った利用者には後述する電子メールで、あるいは郵送でURLを知らせる。ウェブページから登録を行った利用者には、登録を行ったウェブページ上にURLを表示させる。このURLにハイパーリンクを設定し、利用者がこのURLを選択すると、利用者ウェブサイトにもそのままリンク可能に設定してもよい。

【0088】ステップST3(提供者会員登録)： 利用者の会員登録と同様の手順で、メーカの担当者にも提供者の会員登録を行わせる。

【0089】登録用紙によって登録させる場合、提供者は、登録用紙の記入欄に必要事項を記入し、記入済の登録用紙を管理者にファックスする。管理者は、この登録用紙に基づいて、管理者システム5が管理するデータベース群4への登録を行う。

【0090】例えば、提供者は、ハードウェアについては図10に示すような記入欄において、ソフトウェアについては図11に示すような記入欄において、該当する項目を予めチェックする。インターネット/イントラネットについては図12に示すような記入欄において、ソリューションについては図13に示すような記入欄において、該当する項目を予めチェックする。管理者は記入欄にチェックされた登録用紙をファックス等で回収し、チェックされた内容をコード化してデータベースに登録する。

【0091】提供者ウェブページから同様のフィールドについて提供者が登録を行う場合には、利用者における登録方法に準じて、上記項目を提供者に入力させる。

【0092】ステップST4(提供者専用URL発行)： 利用者における専用URL発行と同様にして、提供者にも専用URLを発行する。

【0093】情報検索処理
登録処理が済むと、データベースに登録された情報に基づいて、利用者への情報の提供や、提供者への情報のフィードバックが、以下のように行われる。

【0094】ステップST10（新規情報）： 提供者が新たな提供物件についての新規情報をシステムに追加する場合、この新規情報について、例えば図5から図7に示す項目のいずれに相当するかの属性情報も指定する。新規情報の提供やインターネット経由で、あるいはファックス等の媒体によって行う。提供者より新規な提供物件に関する情報が追加された場合、サーバ503はこの新規な提供物件の情報に関し、提供物件のコンテンツに関してはコンテンツデータベース407に登録する。また当該提供物件について提供者が指定した属性情報については、その提供条件とともに提供者属性データベース404に登録する。そして前記提供者属性データベース404に登録された属性情報と利用者属性データベース403に登録された属性情報とを所定の条件にしたがって検索する。この条件は任意に設定することが可能であり、管理者が予めサーバ503に設定しておく。例えば、属性情報のうち一定数以上の項目について一致したとき、両属性情報が対応していると判断したり、ある特定の項目について一致しているとき両属性情報が対応したいと判断したりする。この手順を経て、サーバ503はこの新規情報を希望していると思われる利用者を抽出する。また、新たに利用者が上記会員登録を行った場合にも、その時点においてサーバ503がこれら属性情報の比較処理を行い、利用者の希望に沿うと思われる物件情報を抽出する。

【0095】例えば、利用者がプロダクトリクエスト情報（図5参照）として「オフコン」を選択した場合には、ハードウェア（図10参照）で「サーバ関連機器」のいずれかの項目が提供者によって選択されている物件が、「オフコン」に対応する物件として抽出される。

【0096】サーバ503は、前記条件に合致して利用者の希望に沿う物件情報を抽出したら、その物件の物件管理番号および利用者管理番号を抽出する。

【0097】ステップST11（ファイル生成）： 物件管理番号が抽出されたら、サーバ503は、さらに提供者属性データベース404またはコンテンツデータベース407から製品情報群を読み取って、ハイパーテキスト形式のファイル群を生成する。そして利用者管理番号に基づいて利用者データベース401から、当該利用者に割り当てた利用者ウェブサイトのURLを読み取って、そのURLの示すディレクトリに生成したファイル群を格納する。

【0098】なお、ファイル群の生成は、リアルタイムで行っても、従来のようにバッチ処理によって行ってもよい。リアルタイムで行う場合には、サーバは、ステップST10の新規情報が供給された時に、すぐハイパーテキスト形式のファイル群を生成する。また、バッチ処理によって行う場合には、サーバを制御するバッチファイルに記載されている規定処理の手順にしたがって、予め定められた時期（例えば、1日に一回等）にデータベ

ースを検索して、新規情報がある場合に対応するウェブサイトのためにハイパーテキスト形式のファイル群を生成する。

【0099】ステップST12（電子メール送付）： ファイルを格納したら、サーバ503は、アクセス履歴データベース405を参照して、当該ファイルに対応する利用者の利用者管理番号のレコードを抽出する。そしてその物件管理番号を読み取って、ファイルに含めた物件情報が、過去にこの利用者端末2xから読み取られたものなのか否かを判定する。

【0100】ファイルに含めた物件情報のうち、この利用者端末2xから読み取られていない情報があると判定した場合には、利用者に新規情報が届いている旨の電子メールを、電子メールインターフェース6から送信する。電子メールには、提供者属性データベース404から読み取ったその物件のタイトルを含める。電子メールアドレスは、当該利用者の利用者管理番号に基づいて利用者データベース401から読み取る。

【0101】図14は、サーバ503から利用者端末や提供者端末に対して送信された電子メールを電子メール閲覧ソフトで表示させた場合の表示例である。

【0102】利用者表示欄14aには、利用者データベース401から抽出した利用者に関する、氏名、電子メールアドレス、および提供者属性データベース404から抽出された物件のタイトル等が表示される。

【0103】利用者ウェブサイト表示欄14bには、利用者ウェブサイトのホームページにリンクするためのURL14c等が表示される。このURL14cにはハイパーリンクが設定されている。利用者がこのURL14cを選択すると、WWWブラウザが起動され、図15に示すようなホームページに直接リンク可能に構成されている。

【0104】物件情報表示欄14dには、提供者属性データベース404から抽出された物件情報が表示される。この欄には、各物件ごとに物件のタイトル、およびその物件情報に直接リンクするためのURL14eが表示されている。利用者がこのURL14eを選択すると、コンテンツデータベース407に基づいて作成されたウェブサイト（図18参照）に直接リンクする。これと同様のリンクは、URL14cで閲覧される利用者ウェブサイトにも設定されているが（図17の欄17a、17bおよび17c）、URL14eを選択することで、利用者は利用者ウェブサイトに接続することなく直接コンテンツ情報を参照することができる。

【0105】掲示板欄17fは、サーバ503が、どの利用者の電子メールにも送付される共通な情報が表示される欄である。この欄にも、直接コンテンツ情報のウェブサイトへリンクするためのURLが設定されている。

【0106】上記のような電子メールが利用者端末2xに送信されることで、利用者は自分の要求している新規

情報が用意されたことを認識できる。なお、利用者がファックスによる連絡、郵送による連絡を希望している場合には、サーバ503は、ファックスインターフェース装置7を制御したり、メール装置8を制御したりする。送付されるファックス文面や郵送される文面は、図14に表示された電子メールに準ずる情報をプリントアウト等するものとする。

【0107】ステップST13（ウェブサイト閲覧）：

利用者端末2xにおいて、上記電子メールを受信した場合には、利用者は、WWWブラウザを使用して、専用10の利用者ウェブサイトのURLを入力し、このウェブサイトと接続する。このURLで指定される管理者システム5のディレクトリには、ステップST11で生成したファイルが格納されている。

【0108】利用者端末2xにおいてWWWブラウザがこのファイルを読み取ると、図15に示すようなホームページが表示される。このホームページには、利用者データベース401から読み取られた利用者の氏名欄15aや各種サービスを行うウェブページにリンクするためのアイコン群15bが表示される。

【0109】次いで図16に示すように利用者の認証を行う入力欄16aが表示される。利用者が登録画面（図9参照）で表示されたものと同じ利用者（ユーザ）IDとパスワードを入力すると、サーバ503はこれらが利用者データベース401に登録されたものと同じか否かの認証を行う。認証が成功すると、図17に示すようなウェブページにリンクする。

【0110】このウェブページには、直接情報欄17a、間接情報欄17b、アイコン群17c等が表示される。このなかで、直接情報欄17aは、ステップST10で抽出され、ステップST11でファイルに含められた、利用者の要求に沿った物件情報のタイトルが列記される。利用者が異なる場合には、同種のウェブページのこの欄には異なるタイトルが列記されることになる。この物件情報の中には電子メールで通知された新規な物件情報が含まれることになる。間接情報欄17bは、すべての利用者に共通に提供される情報であり、どの利用者のウェブページでも同一の内容が表示されるものである。この中には、当該取引仲介システムのみならず、メーカが独自に提供しているウェブサイトと接続できるよ40うにリンクを設定することも可能である。

【0111】ここで、直接情報欄17aの中から新規情報等、利用者の所望の物件に関するタイトルを選択すると、そのタイトルに設定されているハイパーリンクによって、そのタイトルの表す物件についてより詳細な情報が記された図18に示すようなウェブページにリンクする。このウェブページは、上記したようにコンテンツデータベース407の登録内容に基づいて生成されたものである。

【0112】このウェブページには、サーバ503が提50

供者属性データベース404から読み取った物件情報として、タイトル18a、製品名18b、製品仕様18c、アンケート欄18d、画像18e等が表示される。アンケート情報18dは、提供者が利用者から集めたい情報について、アンケート入力を依頼する欄である。画像18eは、このウェブページと同じディレクトリに格納されている画像ファイルによって表示される。

【0113】ステップST14（情報検索）：さて、利用者は利用者ウェブサイトにおいて、所望の情報検索を行うことができる。利用者が利用者ウェブサイトの各ウェブページに次々にリンクしていくとき、サーバ503は、リンクしたウェブページに関連する物件管理番号とともにリンクした日時等を、アクセス履歴データベース405に格納する。またリンク先のウェブページにおいて、例えば図18のアンケート欄18dに利用者によって所定事項が入力されると、そのアンケート情報も同じデータベースに格納する。さらに利用者が利用者ウェブサイトにおいて、提供者の社名等に基づいて情報を検索され場合にも、同様にしてアクセス履歴データベース405にその履歴を格納する。

【0114】例えば、図19に示すような初期ウェブページにおいて、利用者が「サプライヤ（提供者）参照」アイコンを選択すると、図20に示すような提供者選択ウェブページにリンクする。利用者が「社名から探す」というタブを選択して、五十音順リストから探したい提供者の冒頭の音を選択すると、サーバ503は提供者データベース402を参照する。そして該当する提供者の社名を抽出し、図22に示すようなウェブページを表示させるファイルを生成する。

【0115】また、図20のウェブページから「サービス内容から探す」というタブを選択すると、図21に示すようなウェブページを表示させるファイルを生成する。このウェブページにおいて利用者が自分の希望しているサービスを選択すると、サーバ503は、提供者属性データベース404の製品属性情報を参照する。そして、そのサービス内容を提供可能な提供者管理番号を抽出し、その番号に対応する社名を図22に示すように表示させる。

【0116】図22のウェブページにおいて、各提供者の社名欄22aで詳細欄22bを選択すると、さらに図23に表示するウェブページにリンクする。このウェブページは、サーバ503が提供者データベース402等を参照することによって生成したものである。

【0117】一方、利用者は製品から情報を検索することも可能である。図19に示すウェブページにおいて、利用者が「商品一覧」アイコンを選択すると、図24に示すようなウェブページを表示させるファイルにリンクする。さらに利用者が特定の商品を選択すると、サーバ503は提供者属性データベース404の製品情報を参照して登録されている製品一覧を表示させるウェブペー

ジを生成する。例えば図24において「PC」が選択されると、図25に示すように商品「PC」についての商品一覧を表示する。これらの製品検索に関する履歴は総てアクセス履歴データベース405に格納される。

【0118】ステップST15（検索状況分析）：さて、サーバ503は、新たな提供者から登録があった場合に、この提供者のためのウェブページを表示させるファイルを生成する。また、サーバ503は絶えずアクセス履歴データベース405を検索し、図18のようなアンケートに対する返答が利用者から寄せられていた場合にも、そのアンケートを依頼した提供者のためのウェブページを表示させるファイルを生成する。

【0119】このとき、この提供者が提供している物件のそれぞれについて、広報の対象となる利用者が何人いるかについて、検索条件分析を行う。すなわち、サーバ503はアクセス履歴データベース405を参照し、当該提供者の管理番号が記録されているレコードを抽出する。そして、物件管理番号ごとに、何人の利用者が当該提供者が提供したウェブページにリンクしたのかを重複無く集計する。そしてこの集計情報を前記ウェブページに表示させる情報に含める。

【0120】また、提供者は他の提供者についてどのような物件が提供されているか、あるいは他の提供者が販売対象としうる利用者が何人いるかについても、検索条件分析が可能である。すなわち、サーバ503は提供者データベース402を検索し、他の提供者の提供者管理番号を読み取る。そしてこの提供者管理番号をキーとして、上記と同様にアクセス履歴データベース405を参照し、該当するレコードを抽出する。そして、提供者管理番号ごとに、何人の利用者が、どのような物件について広報対象者となっているかについて集計し、この集計した結果をウェブページに表示させる情報に含める。

【0121】さらに、サーバ503は、アクセス履歴データベース405に格納された利用者のアクセス履歴と、利用者属性データベース403に格納された利用者が自ら登録した要求情報とを比較し、双方に齟齬がある場合には、利用者属性データベース403の登録内容を更新する。例えば、アクセス履歴データベース405において、特定の利用者が閲覧したウェブページの物件管理番号を抽出し、これに基づいて提供者属性データベース404におけるその物件の属性情報を読み取る。同時に、利用者属性データベース403から利用者が自ら登録した製品をプロダクトリクエスト群から読み取る。物件の属性情報が示す製品の特性と利用者が登録した製品の特性とが異なる場合に、サーバ503は、物件の属性情報が示す製品の特性に合うように、利用者属性データベース403の内容を更新する。

【0122】ただし、利用者が自分に無関係な製品情報をたまたま閲覧することも考えられるので、同種の物件の属性情報が所定回数記録されている等の、利用者がそ

の物件の属性に近い製品を明らかに要求しているという意思を推認できる場合に限り、利用者属性データベース403を更新するよう構成してもよい。

【0123】ステップS16（電子メール送信）：さて、提供者用のファイルを生成すると、サーバ503はステップST12と同様にして、新規情報が発生した旨の電子メールを提供者に送信する。

【0124】ステップST17（ウェブサイト閲覧）：提供者が提供者端末3yにおいて、ステップST4で発行された専用のURLを入力すると、提供者端末3yはこの提供者の専用のウェブサイトへ接続される。このウェブサイトには、ステップST15で生成したファイルが格納されているので、このファイルによるウェブページが表示される。

【0125】図26は、このウェブページの表示例である。このウェブページには、サーバ503が提供者データベース402から読み取った内容が含まれている。すなわち、提供者の会社名欄26a、担当部署欄26b、役職名欄26cおよび担当者名欄26dに、それぞれデータベースから読み取られた情報が入力されている。

【0126】ここで、担当者が「現在の対象人数の表示」欄26dを選択すると、ステップST15で検索された情報を表示するためのウェブページにリンクする。このウェブページは、例えば、図27および図28に示すように、提供者（担当者）の氏名欄27a、日付欄27b、利用者総数表示欄27c、検索結果表示欄27d、販促情報欄27e、問い合わせ欄27f等が表示される。

【0127】提供者の氏名欄27aは、サーバ503が提供者データベース402を参照することで表示される。利用者総数表示欄27cは、利用者データベース401を参照することで表示される。検索結果表示欄27dは、上記ステップST15で検索した結果であり、製品ごとに、該当する利用者が何人いるかが表示される。販促情報欄27eには、管理者から提供者に対するアンケート参加の呼びかけ等が表示される。

【0128】販促情報欄27eにおける各項目からは他のウェブページへのハイパーリンクが設定してある。例えば、提供者がアンケート参加を選択すると、図29に示すような内容を表示するウェブページにリンクする。このウェブページより提供者が各入力欄に入力すると、入力した情報は管理者に送信され、システム改善等に利用される。

【0129】調達処理

調達処理は、上記情報検索処理により、希望する製品概要を決定した利用者が、ネットワークを通じて実際に製品を調達する処理をいう。この調達処理を図3および図31を参照して説明する。

【0130】ステップST20（物件情報登録）：調達処理の前提として、提供者が提供者端末3yから提供

者属性データベース404に、提供物件の登録をしておく必要がある。この登録はステップST3と同様に行われる。

【0131】ステップST21（調達情報登録）：利用者は利用者端末2xを使用して、調達したい物件について、図31に示すようなフローチャートにしたがって調達データベース406への登録を行う。

【0132】まず、利用者が利用者端末2xを使用して、図19に示すような初期ウェブページにおいて、「調達」アイコンを選択すると（S10）、既にその利用者が登録している調達情報の一覧表が表示されるウェブページにリンクする（S11）。例えば、図32に示すように、新規登録情報欄32aおよび調達情報の登録内容一覧32b～32g等が表示される。

【0133】新規登録情報欄32aは、後述するS18において調達情報を登録した場合に表示される。登録内容一覧は、サーバ503が調達データベース406を当該利用者の利用者登録番号をキーとして抽出したレコードに基づいて生成されるものである。抽出する際に、登録日から一定期間（例えば4週間）以内のもので、削除フラグが有効でないレコードが抽出される。この一覧表には、調達欄32bが調達フラグに基づいて、返答欄32cが返答フラグに基づいて表示される。そして登録番号欄32d、登録内容欄32e、登録日欄32f、削除欄32g等が表示される。

【0134】ここで、状況が変わったため利用者が不要となった調達情報がある場合には、一覧表の削除欄32bにおいてそのレコードのチェックボックスをチェックし、「削除」アイコンを選択する。これに基づいて、調達データベース406のこのレコードの削除フラグが有効とされ、一覧表からこのレコードが消去される（S19）。

【0135】過去の調達情報の詳細を確認したい場合、利用者は一覧表の詳細を確認したいレコードの登録日欄32dを選択する（S12）。この欄には詳細情報を表示させるウェブページへのリンクが設定されており、例えば、図33に示すような調達情報の詳細が表示されるウェブページへリンクする。サーバ503は、登録番号をキーとして、調達データベース406を検索し、当該ウェブページを表示させるファイルを生成する。

【0136】このウェブページで、利用者が「サプライヤ（提供者）を選んで調達する」アイコンを選択すると（S13：はい）、提供者を選択するためのウェブページにリンクする（S14）。このウェブページには、例えば図34に示すように、提供者の一覧表34aが表示される。このウェブページは、サーバ503は、提供者データベース402を参照することで生成される。さらに特定の名称の提供者を選択したい場合には、社名入力欄34bにおいて社名を入力し、「検索」アイコンを選択すれば、サーバ503が提供者データベース402を

検索して、該当する提供者を一覧表に表示させる。検索は、「前方一致」、または「言葉を含むもの全部」を選択できる。例えば、図35に示すように、該当する提供者一覧表35aが表示される。

【0137】利用者がさらに詳細な情報を見たい場合には、この一覧表の詳細欄35bを選択すると、さらにサーバ503が提供者データベース403の他の情報を読み取って、例えば図36に示すような詳細情報を表示する。この画面において、利用者が「リストに追加」アイコンを選択すると、この詳細が表示された提供者のために調達データベース406に新規レコードが作成される。また、利用者が「戻る」アイコンを選択すると、図35のウェブページにリンクする。

【0138】一方、図33のウェブページで利用者が「サプライヤ（提供者）を選択せず調達する」アイコンを選択すると（S13：いいえ）、総ての提供者を対象に調達情報の提供を行う（S15）。すなわち、サーバ503が調達データベース406に、総ての提供者を登録するためのレコードを作成する。

【0139】さて、利用者が調達情報の新規登録を行いたい場合、図32の「新規・追加登録」アイコンを選択する。これにより、例えば、図37に示すような登録内容を選択するためのウェブページにリンクする。利用者は、種別一覧表37aから、調達を希望する種別の詳細欄37bを選択する（S16）。これにより、例えば、図38に示すような、調達内容の詳細を入力するためのウェブページにリンクする。利用者が調達項目群38aの中から所望の項目についてのチェックボックス38bをチェックして「次へ」アイコンを選択すると（S17）、例えば、図39に示すような調達登録画面を表示させるウェブページにリンクする。

【0140】このウェブページの確認欄39aには、利用者が選択してきた調達情報がまとめて表示される。この情報でよければ、利用者は予算欄39bに希望する予算を記入し、納期欄39cに希望する納期を記入する。最後に「登録」アイコンを選択すると、例えば図40に示すような調達内容を確認するためのウェブページにリンクする。調達情報が総て満足できるならば、利用者は「登録する」アイコンを選択する。これにより、調達内容が登録される（S18）。すなわち、サーバ503が調達情報を調達データベース406の各フィールドに格納し、調達フラグを有効にする。

【0141】もしも調達情報に不満があれば、利用者は「戻る（再入力）」アイコンを選択し、図39や図38のウェブページに戻って再入力する。

【0142】なお、利用者は調達の登録をするにあたり、提供者に自分の氏名等を提供するか匿名にするかを指定する。この指定に対応して、調達データベース406の匿名フラグが有効にされなかったり有効にされたりする。

【0143】ステップST22（図2：調達情報照会ファイル生成）：さて、利用者による調達データベース406への調達情報の登録が行われると、サーバ503はこれに対応して、調達情報照会用のハイパーテキスト形式のファイルを生成する。このとき、サーバ503は調達データベース406の匿名フラグを参照して、このフラグが有効である場合には、調達を希望する利用者の氏名を伏せ、このフラグが有効でない場合には、調達希望の利用者名を含めて、調達希望者一覧を表示させるファイルを生成する（図42参照）。

【0144】ステップST23（電子メール送信）：ファイルを作成すると、サーバ503は、調達データベース406から、調達を希望する利用者から指定された提供者の提供者管理番号を読み取って、この提供者の電子メールアドレスを提供者データベース402から読み取る。そして、匿名の調達希望者が何日までに返答を要求しているか等を知らせる文面を、調達データベース406を参照しながら生成して、それを電子メールで上記提供者に送信する。

【0145】ステップST24（ウェブサイト閲覧）：20 提供者端末3yにおいてこの電子メールを受信した担当者は、調達希望者の情報を参照すべく、専用の提供者ウェブサイトにWWWブラウザを使用してリンクする。

【0146】ステップST25（返答情報）：提供者ウェブサイトに接続した担当者は、図41に示すようなフローチャートにしたがって調達情報を閲覧し、利用者に対する返答情報を入力する。

【0147】まず、提供者ウェブサイトにリンクすると、図19に類似した初期ウェブページが表示される。ここで、担当者が「調達」アイコンを選択すると（S20）、図42に示すような、その提供者に対して寄せられた調達情報の一覧表42aが表示されたウェブページにリンクする（S21）。一覧表42aにおいて、返答欄42bは当該提供者が調達希望に対して返答したか否かを表示するもので、調達データベース406の返答フラグに対応する。登録番号欄42c、登録内容欄42d、登録日欄42fは、調達データベース406の各フィールドに対応する。登録会社欄42eは、提供者データベース402を参照して表示される。

【0148】ここで、担当者が任意のレコードの登録番号欄42cを選択すると、例えば図43に示すようなウェブページにリンクする（S22）。このウェブページは、サーバ503が調達データベース406の内容を参照することにより表示され、利用者の調達情報が総て表示されるものである。

【0149】このウェブページで「一覧に戻る」アイコンを選択すると、図42のウェブページにリンクする。一方「返答を返す」アイコンを選択すると、例えば図44に示すような返答内容を入力するためのウェブページにリンクする（S23）。

【0150】担当者は、利用者の調達情報を確認しながら、その物件に対する概算の見積もりを見積額欄44aに、おおよその納期を納期欄44bに入力する。さらに、調達情報に対して質問事項がある場合や、提供物件のセールスポイント等がある場合には、コメント欄44cにそれらを入力する。そして担当者が「送信する」アイコンを選択すると、サーバ503はこの担当者が入力した返答情報を調達データベース406に格納する。なお、担当者が「前画面に戻る」アイコンを選択すると、図43のウェブページにリンクする。

【0151】図2：ステップST26（返信用ファイル生成）：上記のようにして調達データベース406に返答情報が格納されると、返答がされた旨を登録するために、サーバ503は調達データベース406の該当する返答フラグを有効にする。次いで、返答情報を知らせるためのウェブページを表示させるハイパーテキスト形式のファイルを生成し、該当する利用者ウェブサイトにも格納する。

【0152】ステップST27（電子メール送信）：次いでサーバ503は、調達希望に対する返答が提供者からされた旨の情報、すなわち、調達に係る登録番号、登録日、提供者名等で知らせるための文面を生成する。そして、利用者データベース401の利用者の電子メールアドレスを読み取って、当該利用者に電子メールを送信する。

【0153】ステップST28（ウェブサイト閲覧）：電子メールを受信した利用者端末2xでは、利用者が返答情報を確認すべく、専用の利用者ウェブサイトにリンクする。これにより、例えば、図45に示すようなウェブページが表示される。

【0154】このウェブページには、新規返答欄45a、一覧表45b、セールスポイント45c、詳細欄45dおよびセールスポイント表示欄45e等が表示される。新規返答欄45aには、新規返答が合った旨のメッセージが表示される。一覧表45bには、サーバ405が調達データベースを利用者管理番号と返答フラグとに基づいて検索することにより抽出した、当該利用者に対して返答情報が送信された提供者の一覧が表示される。

【0155】ここで、利用者がセールスポイント欄45cを選択すると、提供者側において図44のコメント欄44cにおいて入力されたメッセージが、セールスポイント表示欄44eに表示される。利用者が詳細欄45dを選択すると、提供者からの返答情報が調達データベース406から読み取られ、この返答情報を表示するウェブページにリンクする。このウェブページには、提供者端末3yで担当者が入力した返答の内容が表示される。

【0156】ステップST29（資料請求問い合わせ）：利用者は、この返答情報に満足する場合には、ウェブページを通じて資料の請求をしたり、具体的な問い合わせをしする。また、直接電話やファックス等

を通じて、提供者側と購入のための直接交渉に入る。これらの対応を利用者が行って初めて、提供者は利用者の具体的なプロフィールを知ることになる。

【0157】一方、返答情報に満足しない場合は、利用者は別の提供者を求めて情報検索処理等を続けることになる。この場合、提供者には利用者のプロフィールが判らないので、利用者がその後の勧誘等で煩わされることはない。

【0158】（電子メール受信プログラム）さて、本発明では利用者または提供者のうち一方から新規情報が送信されると、サーバが電子メールを他方に送信して、最新情報の到達を知らせる。ところで、従来の電子メール用ソフトウェアでは、操作者自らが電子メール用ソフトウェアを実行させない限り、電子メールが到着していることを認識できない。電子メールを頻繁に利用する場合を除いて、電子メールは届いていても、端末を操作する利用者や提供者が新規情報の到着を認識できないという事態が発生する。このため、当該取引仲介システムを利用する利用者や提供者は、常に電子メール用ソフトウェアを実行させて電子メールの有無を確認してから、WWWブラウザを立ち上げるという手間を掛けなければならない。

【0159】そこで、本実施形態では、上記不都合を解決するための電子メール受信プログラムを提供する。この電子メール受信プログラムは、例えば、管理者システム5から利用者や提供者によってFTP（File Transfer Protocol）等を利用してダウンロードされ、端末に常駐させられるプログラムである。

【0160】以下、ダウンロードされ常駐した電子メール受信プログラムによる端末の動作を、図46のフローチャートを参照して説明する。以下において操作者というときには、利用者および提供者のいずれも指すものとする。

【0161】まず、端末はモデムを初期化し（S30）、システムタイマーを参照して、一定の検査タイミングに達したか否かを判定する。この検査タイミングは例えば1時間おき、3時間おき等任意に設定される。検査タイミングでない場合は（S31；NO）、当該プログラムの動作は一旦終了し、次に実施されるのを待つ。

【0162】検査タイミングである場合には（S31；YES）、モデムを介して端末はサーバに接続する（S33）。このサーバは端末の操作者が契約しているプロバイダのサーバである。ダイヤルアップネットワークを利用している場合には、検査タイミングごとにアクセスポイントを発信し、プロバイダに接続することになる。

【0163】もしもこのとき何らかの通信障害が発生した場合には（S34；YES）、その旨のメッセージを表示し（S32）、操作者に注意を促す。

【0164】通信障害がない場合には（S34；NO）、操作者のメールアドレスに電子メールが届いてい

るか否かを検査する（S35）。電子メールが届いていない場合には（S35；NO）、そのままプログラムを一旦終了する。

【0165】電子メールが届いている場合には（S35；YES）、電子メールをサーバから読み取り（S36）、端末のディスプレイに電子メール表示用のウィンドウを表示し、電子メールのメッセージを表示する（S37）。このとき、端末が音声発生機能を備えている場合には、チャイム等の音声を発生させてもよい。

【0166】操作者はどのようなアプリケーションソフトを稼働中であっても、このウィンドウの表示により電子メールの到着を知ることができる。操作者が内容確認アイコンを選択するまでは（S38；NO）、このウィンドウが表示される。

【0167】なお、このウィンドウにWWWブラウザへのハイパーリンクを設定しておくことは好ましい。すなわち、操作者は電子メールの内容を見て、本取引仲介システムにおける新規情報であると判断した場合に、所定のアイコンあるいはURL表示を選択する。端末は、これを契機としてWWWブラウザを自動的に立ち上げて、専用のウェブサイトへリンクさせることができる。

【0168】また、サーバ503に格納されたファイルを読み取った際に、このファイルをWWWブラウザ終了後、すなわち回線が切断されていても表示させ、このファイルに対して操作者が操作した履歴を記録可能に構成してもよい。このように電子メール受信プログラムを構成すれば、次回にWWWブラウザを立ち上げ回線に接続された場合に、操作者が操作した履歴にしたがって、一連の選択、アンケート入力等の情報が一括してサーバ503に転送されることになる。したがって、操作者はダイヤルアップネットワークの利用者であっても回線の接続の有無を認識せずに取引仲介システムを利用できる。また、回線に接続している時間を少なくし、回線使用料を減少させることができる。

【0169】（複数のシステム間における属性情報の引継プログラム）本実施形態では、取引仲介システムによって提供される利用者ウェブサイトや提供者ウェブサイトのいずれにも、関連情報へのリンクを設定することができる。ところで、提供者が独自のウェブサイトを開設していることも多く、その独自のウェブサイトにおいて、本取引仲介システムと同様にアンケートを実施したり、質問サービスを提供したりしている場合も多い。

【0170】本取引仲介システム内におけるアンケートや質問であれば、常に利用者管理番号や提供者管理番号により、アンケート返答者や質問者の属性情報をシステムが認識できるので、これらの者が改めて自分の氏名や住所等の属性情報を入力する必要がない。

【0171】ところで、通常は一つのサーバが管理するシステムから他のサーバが管理するシステムへリンクすると、リンク前のシステムで登録していた情報が引き継

げなかった。このため、利用者や提供者がアンケート返答や質問を行おうとすれば、そのリンク先のシステムで再度属性情報を入力しなければならなかった。特にWWWブラウザのようなシステムを用いると、他のサーバへのリンクが自由に行えるという利点がありながら、個人情報を引き継がないという制約が課せられていた。

【0172】そこで、本発明では、本取引仲介システムにリンクさせる可能性のあるシステムに、属性情報の引継プログラムを備えることにより、上記不都合を解決する。これにより、取引仲介システムにおいて、関連する提供者のウェブサイトへリンクさせても、当該システムの利用者は、再度の属性情報を入力することなく、アンケート回答等が可能となる。ただし、本処理を複数のサーバ上で動作させれば、本取引仲介システムに限られることなく、属性情報を相互に利用する可能性のある総てのシステム間で属性情報を引き継げる。

【0173】以下、この属性情報の引継プログラムを、図47のフローチャートを参照して説明する。このプログラムが動作可能な条件として、ネットワークが、ネットワークアドレスにより特定のサーバが指定されるようなプロトコルを備えていることが必要である。本取引仲介システムでは、インターネット上でhttpプロトコルにより、URLでネットワークアドレスが特定されるので、この条件を満たしている。以下、URLがネットワークアドレスとして使用されるものとして説明する。

【0174】まず、ある個人情報等の属性情報が登録されたシステムにおいて、他のシステムへのリンクが選択された場合、そのシステムのサーバは、属性情報をデータベースから読み取る。そしてリンク先を示すURLの文字列の次に、予め定めた識別子を挟んで、属性情報を付加し、これをインターネットに向けて送信する。このURLによって、ネットワーク上のいずれかのサーバが管理するシステムにリンクする。

【0175】ここで、予め定めた識別子とは、ネットワークアドレスに使われないと想定される文字あるいは文字列をいう。識別子は、URLの場合、アルファベットや「/」、「:」等のURLに通常用いられる文字を使用しないものであることが重要である。例えば「#」や「\$」が考えられる。識別子として使用する文字や文字列を複数のサーバ間で統一しておく必要がある。

【0176】さて、新たなURLによって他のシステムにリンクした場合(S40; YES)、そのシステムのサーバは、送信されたURLをバッファURLに格納する(S41)。ここで、URL[x]というときには冒頭の文字から数えてx+1番目の文字を意味する。そして、変数nをリセットし(S42)、ULR[n]、すなわちURLのn+1番目の文字やn+1番目から始まる所定数の文字列が予め定めた識別子と一致するか否かを

判定する(S43)。

【0177】ULR[n]が識別子と一致しない場合(S43; NO)、変数nを1つ増やし(S44)、これがネットワークアドレスに許容される最大数(例えば255文字)MAX以上か否かが判定される(S45)。変数nがMAX以上の場合は(S45; YES)、このURLには識別子が含まれていないので、通常のアドレス接続処理を行う。変数nがMAXより少ない場合は(S45; NO)、次の文字や文字列が予め定めた識別子と一致するか否かを判定する(S43)。

【0178】ULR[n]が識別子と一致した場合(S43; YES)、変数mがリセットされ(S46)、別のバッファcharに、n+1番目のURLが転送される(S47)。次いで変数mとnとがともに1ずつ増やされる(S48)。

【0179】そして次のURLの文字がNULL、すなわちURLの終わりか否かを判定する(S49)。次のURLの文字がNULLでない場合には(S49; NO)、この文字を次のバッファcharに格納し同様の処理を繰り返す(S47~S49)。次の文字がNULLである場合には(S49; YES)、バッファcharには、識別子とそれに続く属性情報が格納されていることになる。したがって、システムのサーバは、このバッファの文字列を自らが管理するデータベースに登録する。さらにこのシステムから他のシステムにリンクする場合でも、上記手順を実行することによって、個人情報等の属性情報を引き継いでいくことが可能である。

【0180】その後、端末の操作者がこのサーバに対し、アンケート返答や質問の送付を要求してきた場合には、上記データベースからこの文字列を読み出して、そこに格納された属性情報を付加して、アンケート情報や質問情報を、送信先に送付する。

【0181】このプログラムによれば、新たなシステムにリンクした場合にも、属性情報が引き継がれるので、利用者や提供者が新たに属性情報を入力することなく、アンケート返答や質問等の処理が行え、便利である。

【0182】(本実施形態の利点) 上記したように、本実施形態の取引仲介システムによれば以下の利点がある。

【0183】(1) 上記実施形態によれば、利用者端末から個別に参照可能な利用者ウェブサイト割り当て、提供者から個別に参照可能な提供者ウェブサイト割り当て。したがって、利用者にとっては、氾濫する情報のなかから自分にとって必要な情報のみが選択された情報にアクセスできる。また、提供者にとっては、自らの提供物件について特定の相手に絞って情報の伝達を行え、それに対する返答も獲得しやすくなる。また、ファイルの生成のみで広告が可能なので、安価に短い時間で高い広報効果を得ることができる。たとえば、通常の雑誌による広告掲載では準備に2ヶ月が必要なところ、

本システムによれば、3日程度で広告が可能となる。また、雑誌による広告やダイレクトメールによる広告では百数十万円から二百万円程度必要とされるところ、本システムによれば百万円より少ない金額で十分である。

【0184】また、個別のウェブサイトへのネットワークアドレスは、個別に知らされるのみなので、第三者にそのウェブサイトの情報を知られるおそれが少ない。さらにIDやパスワードを用いた認証処理をすることで、セキュリティの向上を図ることができる。

【0185】(2) 本実施形態によれば、新たな情報10が発生した場合に、電子メールによって利用者端末あるいは提供者端末にその旨がメッセージで知られるので、新商品情報等の新規な情報を迅速に利用させることが可能である。

【0186】(3) 本実施形態によれば、利用者からの要求と提供者から提供される提供物件に関する情報とをデータベースに登録し、相互に比較し、双方が合致している場合に取引を仲介するように構成したので、利用者にとっては自分の欲しい情報を確実に入手でき、提供者にとっては売り込める可能性の高い利用者に直接アク20セスできる。

【0187】(4) 本実施形態によれば、複数の利用者や他の提供者からのアクセス情報を、提供者に提供可能に構成したので、提供者において市場動向の調査や競合他社の動き等のリサーチが容易に行える。

【0188】(5) 本実施形態によれば、利用者が自らの要求に応じることのできる提供者を検索するにあたり、自らを匿名にしつつ提供者からの情報入手可能に構成したので、利用者が納得いくまで検討を行うことのできる取引仲介が可能である。

【0189】(6) 本実施形態によれば、電子メール受信プログラムにより、利用者端末でネットワークに接続していない場合でも情報の着信を利用者に知らせるように構成したので、ネットワークから迅速な情報取得が可能である。

【0190】(7) 本実施形態によれば、ネットワーク上で一つのサーバから他のサーバへ接続変更をする際に、利用者の属性情報を引継げるように構成したので、一のシステムが管理するウェブページから他のシステムのウェブページへリンクする場合にも、再度属性情報を入力する必要がない。

【0191】(8) インターネット等のネットワークは24時間作動しているので、利用者および提供者は時間を気にすることなく、取引が行える。

【0192】(実施形態2) 本発明の実施形態2は、提供者の管理するサーバが、管理者の管理するデータベースを参照しながら、利用者端末にサービスを提供するシステムに関する。

【0193】(ネットワーク構成) 図48に、本実施形態の取引仲介システムの構成図を示す。同図に示すよう50

に、本実施形態の取引仲介システムは、インターネット1に、利用者端末21~2m(mは任意の自然数)、提供者システム3、データベース群4、管理者システム5および専用データベース6を相互に接続して構成されている。

【0194】提供者システム3は、図1における提供者端末3nのうちの特定の端末を中心に構成されるシステムである。

【0195】インターネット1は、利用者端末2x、提供者システム3および管理者システム5を、いわゆるプロバイダと呼ばれる接続業者の設備またはパソコン通信業者の設備により、公衆回線を介して相互に接続可能に構成されている。その詳細は実施形態1と同様である。特に、利用者端末2xからは、WWWシステムを利用して、WWW上の任意の利用者ウェブサイトを選択するURLを指定することにより、どの端末からでも利用者ウェブサイト参照可能に構成されている。上記利用者ウェブサイトは、提供者システム3のサーバ300が管理する固定ディスク内に設定されるが、提供者システム3から直接管理可能であれば、任意のプロバイダが管理するサーバの固定ディスク中に格納することも可能である。

【0196】なお、各端末を相互に接続するネットワークは、インターネット類似の機能を有するものであれば、他の規格の専用回線網、WAN等のネットワークであってもよい。また、公衆回線を利用しないLANで構成されるイントラネットのようなネットワークであってもよい。

【0197】利用者端末2xについては上記実施形態1と同様である。

【0198】提供者システム3は、コンピュータ装置201、ディスプレイ装置202、サーバ300、電子メールインターフェース6、ファックスインターフェース7およびメール装置8を備えて構成されている。サーバ300は、汎用のコンピュータ装置であって、内部に、図示しないCPU、通信インターフェース回路、モデム回路、描画回路、RAM、ROM、固定ディスク等を備え、モデム回路あるいはDSU及びTAを使用することにより、加入者回線または専用回線を介してインターネット1に接続可能に構成されている。サーバ300は、特に、固定ディスク等に格納されたプログラムデータをCPUが実行することにより、本発明の取引仲介システムとして、機能可能に構成されている。

【0199】専用データベース6は、提供者システム3が管理するデータベースであり、専用会員データベース601、専用属性データベース602、および専用コンテンツデータベース603により構成されている。

【0200】専用会員データベース601は、提供者が独自に管理する専用会員を管理するためのデータベースであり、上記利用者データベース401に類似の構成を

備えている。専用属性データベース602は、提供者が独自に提供したいサービスの内容に合わせて構成したデータベースであり、1以上のデータベースにより構成される。例えば、上記利用者属性データベース403、アクセス履歴データベース405等に類似の構成を備える。専用コンテンツデータベース603は、提供者が提供可能な物件についての情報を格納するデータベースであり、上記コンテンツデータベース407に類似の構成を備える。

【0201】なお、各データベースは、一つの記憶装置を複数の領域に分割して使用されるものでも、別個の記憶装置にそれぞれ設けられるものでもよい。また、専用データベース6はサーバ300が内部バスを通じて直接アクセス可能な記憶装置上に配置されるものでも、サーバ300と別の記憶装置に配置されるものでもよい。また、インターネットを介して直接管理可能であれば、ネットワーク上のいずれのサーバ内に配置されるものであってもよい。各データベースの管理は、一つのサーバによる集中管理方式によっても複数のコンピュータ装置による分散処理方式によってもよい。

【0202】上記実施形態1の構成要素については、実施形態1と同一の符号を付すこととし、その説明は省略する。

【0203】（作用）上記構成において、提供者システム3は、上記実施形態1で説明した管理者システム5と類似した機能を備え、管理者システム5とは独立してハイパーテキスト形式のファイルを生成して利用者ウェブサイトへ格納可能である。また、提供者システム3には、管理者システム5の管理するデータの一部または総てを任意に使用可能とする設定がなされているものとする。

【0204】従来であれば、一つの提供者がウェブサイトへ解説する際には、提供者が管理する提供者システムで参照可能なデータベース、すなわち専用データベース6のみを参照してファイルを作成していた。

【0205】しかし、本実施形態では、提供者システム3のサーバ300は、インターネット1を介して、管理者システム5が管理するデータベース群4の総てまたは一部にアクセス可能に構成されている。

【0206】そこで、サーバ300は、管理者システム5とは独立してファイルを生成する際に、専用データベース6には存在しないが管理者システム5が管理するデータベース群4に存在するデータを任意に抽出して使用し、ハイパーテキスト形式のファイルを生成する。

【0207】したがって、上記実施形態2によれば、サーバ300にサーバ503で実行したものと同様のプログラムデータを実行させ、さらにネットワークを介して管理者システム5のデータベースを参照可能に設定することにより、単一の提供者が開設するウェブサイトであっても、管理者システムが提供する豊富なデータを使用

したサービスを提供することができる。

【0208】特に本実施形態は、独自にウェブサイト等の管理保守を行える提供者ならば、豊富なデータを使用できる利点を大いに享受できるものである。

【0209】（実施形態3）本発明の実施形態3は管理者の管理するサーバが、提供者の管理するサーバから情報を取得して利用者端末にサービスを提供するシステムに関する。

【0210】（構成）図49に、本実施形態のデータベース構成を示す。同図は、上記実施形態2のうち、データベースの相互関係を模式的に示したものであり、具体的な構成については、上記実施形態2と同様なので説明を省略する。

【0211】ただし、実施形態2と同様に、提供者システム3が管理者システム5のデータベース群4を参照可能な他、管理者システム5のサーバ503が、提供者システム3の管理する専用データベース6を参照可能な設定がされているものとする。つまり、管理者システム5のサーバ503は、専用データベース6の各データベースに格納されたデータを任意に参照可能に構成されている。また、提供者システム3のサーバ300が生成したハイパーテキスト形式のファイルをそのまま読み取ることも可能に構成されている。

【0212】（作用）本実施形態の前提として、提供者と管理者との間で、管理者の提供するウェブページに、提供者の専用画面を提供する旨の契約がなされているものとする。

【0213】まず、管理者システム5のサーバ503は、所定のタイミングで提供者システム3の専用会員データベース601を参照する。そして新たな会員が専用会員データベース601に登録されていたら、その情報を読み取って利用者データベース401に登録する。この処理により、提供者の専用会員は必ず管理者によって登録されることとなるため、会員情報の共有化が図られる。

【0214】一方、提供者システム3のサーバ300は、所定のタイミングで管理者システム5のデータベース群4（例えば利用者属性データベース403等）を参照し、そのデータを読み取って専用属性データベース602に複写する。さらに、提供者が独自に付け加えたいフィールドを、複写したレコードに追加する。この処理により、独自のマッチング情報を作成することができる。

【0215】さて、この状態において、管理者システム5のサーバ503が、利用者ウェブサイトへ格納するハイパーテキスト形式のファイルを生成するものとする。

【0216】サーバ503は、上記実施形態1のステップST11で説明したような手順で、利用者属性データベース403や提供者属性データベース404等を参照して、利用者ウェブサイトのためのファイルを生成して

いく。このとき、サーバ503は、上記契約をした提供者の専用画面用ファイルを提供者システム3に要求する。提供者システム3のサーバ300は、この要求に対応して、専用データベース6を参照し、上記ステップS T 1 1に類似の手順で、その提供者のためのウェブページを表示させるファイルを作成する。そしてそのファイルを管理者システム5に転送する。

【0217】提供者システム3からこのファイルが転送されると、このファイルに基づいて、管理者システム5のサーバ503は、利用者ウェブページの所定の領域に提供者専用の情報を表示させるように、ハイパーテキスト形式のファイルを構成していく。これによって、図49の下部の画面表示例に示すように、利用者ウェブページの提供者専用画面部分には、提供者システム3において生成されたファイルに基づいた画面表示がされる。

【0218】上記したように本実施形態によれば、提供者は自社の新規登録会員を自動的に管理者システムの会員とし登録させることができる。

【0219】また、管理者システムで提供しているデータベースを参照し、さらに独自の情報を付加したデータベースを構成できる。

【0220】さらに、提供者自身がシステムの運用管理を行うことができなくても、利用者に提供したい情報を、管理者システムを介して利用者に開示することができる。

【0221】(その他の変形例) なお、上記実施形態は種々に変形して提供することが可能である。例えば、上記実施形態で示した表示画面は表示例に過ぎず、そのデザインやアイコンの名称、その配置、各画面の互いにリンクする関係は、種々に変更することが可能である。

【0222】データベースは、上記実施形態では、利用者データベース、提供者データベース、利用者属性データベース、提供者属性データベース、アクセス履歴データベースおよび調達データベースで構成したが、このように分けて、異なるデータベース構造としてもよい。つまり、複数のデータベースを一つに統合したり、さらに分類したり、またはフィールド構成を変更してもよい。

【0223】また、上記実施形態では、物件購入のために本発明の取引仲介システムを適用したが、利用者と提供者とが情報を交換して契約を成立させるような取引が目的ならば、他の取引に本発明を適用することが可能である。

【0224】

【発明の効果】本発明によれば、提供者側から情報が提供された場合に、端末から個別に参照可能なネットワークアドレスを生成して固有の情報を提供可能に構成したので、個々の端末からの多様な要求に合致した取引仲介が可能である。したがって、本発明によれば、コンピュータ関連機器のような専門性が高く高額な物件について、提供者が見込み客となる利用者を正確に把握するこ

とを可能にし、かつ利用者との一対一のコミュニケーションを可能とすることができ、提供者および利用者双方に便宜な取引仲介システムを提供することができる。

【0225】本発明によれば、一方の端末から新たな情報が提供された場合に、電子メール等により、他方の端末にその旨をメッセージで知らせるように構成したので、新商品情報等の新規な情報を迅速に利用者に伝達する取引仲介が可能である。したがって、本発明によれば、新規な情報を迅速に利用者が入手して、タイミングを逸することなく取引を成立させることができる。

【0226】本発明によれば、利用者からの多様な要求と提供者から提供される提供物件に関する情報とをデータベース等を利用して相互に比較し、双方が合致している場合取引を仲介するように構成したので、利用者および提供者双方について納得のいく取引仲介が可能である。したがって、利用者にとっては不要な情報の検索や不要な問い合わせに時間を割くことなく、希望に添った物件を容易に入手できる。提供者にとっても、購入対象とならない利用者にダイレクトメールを送付したり、効率の悪い広報をしたりすることなく、取引を成立できるので、人件費等のコスト削減を図ることができる。

【0227】本発明によれば、複数の利用者や他の提供者からのアクセス情報を、提供者に提供可能な構成したので、提供者においてマーケットリサーチ等が容易に行える。したがって、提供者は、提供物件に対するニーズを正確に、迅速に把握することができ、将来の販売促進計画や製品開発計画に有益な情報を入手することができる。

【0228】本発明によれば、利用者が自らの要求に応じることのできる提供者を検索するにあたり、自らを匿名にしつつ提供者からの情報入手可能に構成したので、利用者が納得いくまで検討を行うことのできる取引仲介が可能である。したがって、利用者にとって、購入の意思が薄れたにも係わらず、提供者からの勧誘が来る等の煩わしさを解消することができる。

【0229】本発明によれば、提供者が独自にデータベースを備えている場合に、システムが備える豊富な情報が蓄積されたデータベースを利用可能に構成したので、提供者がシステムの提供する資源を有効に利用可能とすることができる。したがって、自社情報のみでは十分に利用者に魅力ある情報を開示できない提供者であっても、新たな支出を伴うことなくシステムの資源を有効に利用することができる。

【0230】本発明によれば、提供者が独自にデータベースを備えている場合に、当該提供者が提供したい専用の情報を含めた情報の提示を可能に構成したので、提供者が独自に作成した情報を有効に利用者に提供可能とすることができる。したがって、システムの運用という負担の重い分野を管理者に任せながら、利用者に提供したい広告情報等を漏れなく利用者に開示させることができ

る。

【0231】本発明によれば、電子メール受信プログラム等により、利用者端末でネットワークに接続していない場合でも情報の着信を利用者に知らせるように構成したので、ネットワークから迅速な情報取得が可能である。したがって、利用者は、アプリケーションソフトウェアを起動して、意識的に電子メールが配信されたか否かをチェックする手間が省け、さらに通信回線の使用料を少なくすることができる。

【0232】本発明によれば、ネットワーク上で一つのサーバから他のサーバへ接続変更をする際に、利用者の属性情報を引継げるように構成したので、一のシステムが管理するウェブページから他のシステムのウェブページへリンクする場合にも、再度属性情報を入力する必要がない。したがって、利用者は一旦属性情報を登録さえすれば、どのようなシステムに接続し、どのようなウェブページにリンクさせても、新たな属性情報を入力することなく、アンケート返答や質問等を行うことができ、手間が大いに省ける。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の取引仲介システムの構成図である。

【図2】本発明の取引仲介システムのデータベース構造を説明する図である。

【図3】本取引仲介システムの処理を説明するフローチャートである。

【図4】利用者の個人情報記入欄の例である。

【図5】リクエスト情報の記入欄の例である。

【図6】ソリューション別リクエストの記入欄の例である。

【図7】プロフィール情報の記入欄の例である。

【図8】新規利用者登録のウェブページ表示例である。

【図9】登録確認のウェブページ表示例である。

【図10】提供者のハードウェア記入欄の例である。

【図11】提供者のソフトウェア記入欄の例である。

【図12】提供者のインターネット／イントラネット記入欄の例である。

【図13】提供者のソリューション記入欄の例である。

【図14】利用者に送信される電子メールの文例である。

【図15】専用の利用者ホームページ表示例である。

【図16】利用者の認証用ウェブページ表示例である。

【図17】利用者のデスクトップ表示例である。

【図18】物件の詳細情報の表示例である。

【図19】利用者の初期画面の表示例である。

【図20】社名から検索する場合の表示例である。

【図21】サービス内容から検索する場合の表示例である。

【図22】検索結果の表示例である。

【図23】提供者の詳細を表示するウェブページの表示例である。

【図24】商品検索用ウェブページの表示例である。

【図25】特定商品用ウェブページの表示例である。

【図26】専用の提供者ウェブページの表示例である。

【図27】広報対象者の検索結果表示用ウェブページの表示例である。

【図28】広報対象者の検索結果表示用ウェブページの表示例である。

【図29】管理者から提供者に対するアンケート例である。

【図30】情報検索処理の概要を説明するフローチャートである。

【図31】利用者側における調達処理を説明するフローチャートである。

【図32】調達用ウェブページの表示例である。

【図33】調達詳細表示用ウェブページの表示例である。

【図34】社名検索用ウェブページの表示例である。

【図35】社名検索結果を示すウェブページの表示例である。

【図36】提供者の詳細を表示するウェブページの表示例である。

【図37】登録内容を選択するウェブページの表示例である。

【図38】調達詳細情報を登録するウェブページの表示例である。

【図39】調達詳細情報を登録するウェブページの表示例である。

【図40】調達情報の確認用ウェブページの表示例である。

【図41】提供者側における調達処理を説明するフローチャートである。

【図42】調達内容一覧表示用のウェブページの表示例である。

【図43】調達内容詳細表示用のウェブページの表示例である。

【図44】返答入力用ウェブページの表示例である。

【図45】利用者側における返答一覧用ウェブページの表示例である。

【図46】電子メール受信プログラムの処理を説明するフローチャートである。

【図47】属性情報の引継プログラムの処理を説明するフローチャートである。

【図48】実施形態2の取引仲介システムのブロック図である。

【図49】実施形態3の取引仲介システムのデータブロック図である。

【符号の説明】

1…インターネット

21、22、…、2m、2x…利用者側の利用者端末

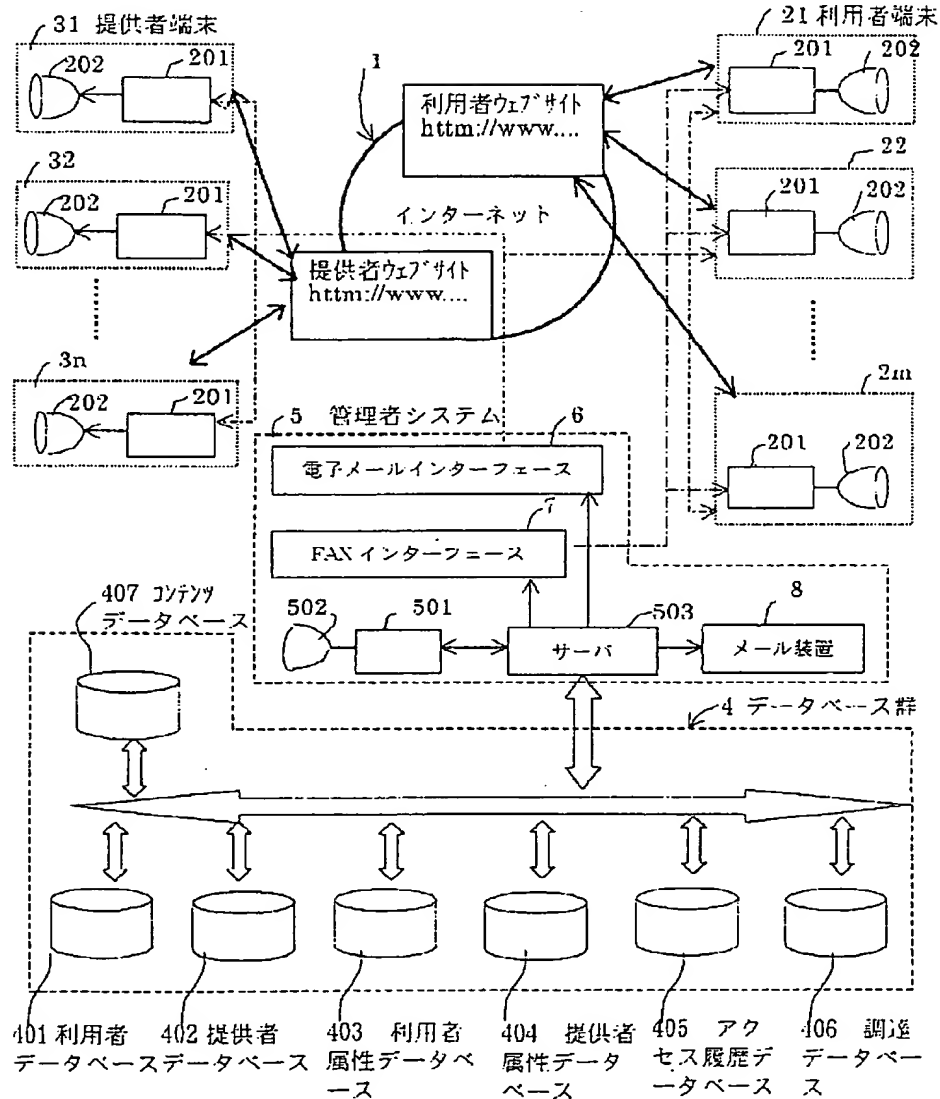
31、32、…、3n、3y…提供者側の提供者端末

4…データベース群
 5…管理者システム
 6…電子メールインターフェース
 7…ファックスインターフェース
 201、501…コンピュータ装置
 202、502…ディスプレイ装置
 503…サーバコンピュータ

* 401…利用者データベース
 402…提供者データベース
 403…利用者属性データベース
 404…提供者属性データベース
 405…アクセス履歴データベース
 406…調達データベース

*

【図1】



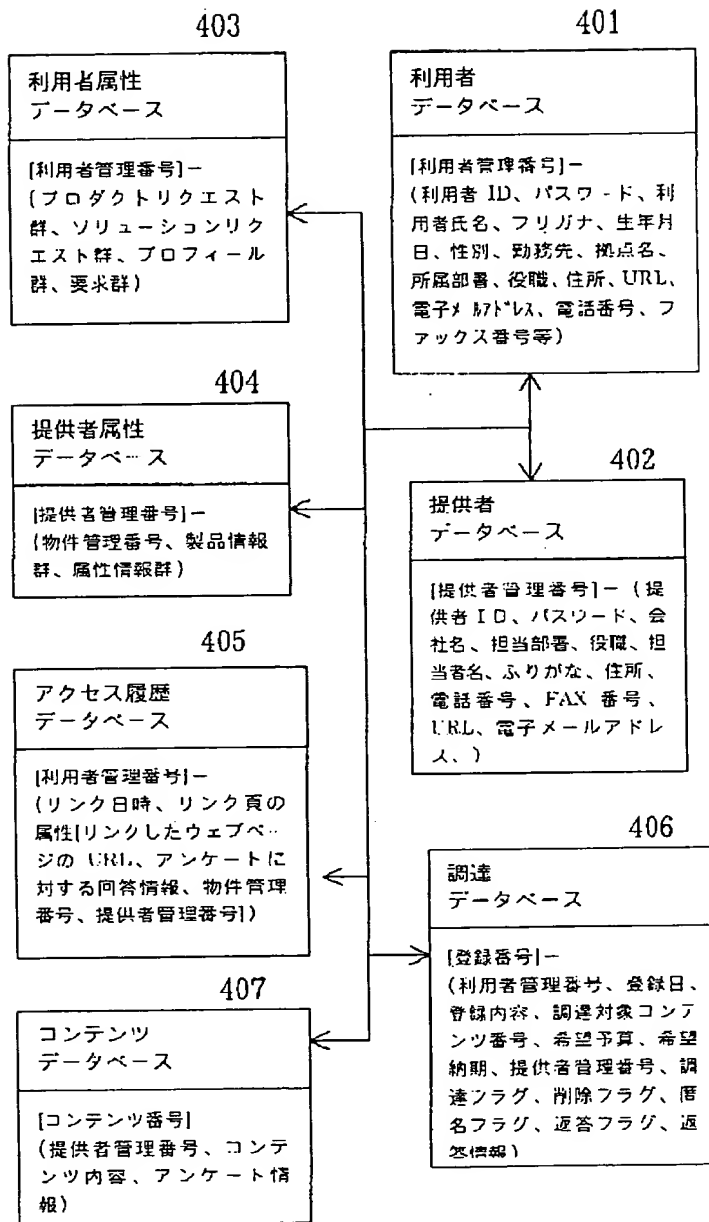
【図6】

◆ソリューション(目的): 別リクエスト

1. クラウドサービス	2. データウェアハウス	3. マルチメディア	4. インターネット (www)	5. インターネット	6. CALS	7. BPR	8. エンジン化
9. その他	10. 提携サービス	11. WWW検索・活用サービス	12. セキュリティ関連	13. 認証サービス	14. コンテンツ管理 (VRML, HTML, CGI, ...)	15. オンライン	16. その他

その他のリクエストの記入方法はご記入ください

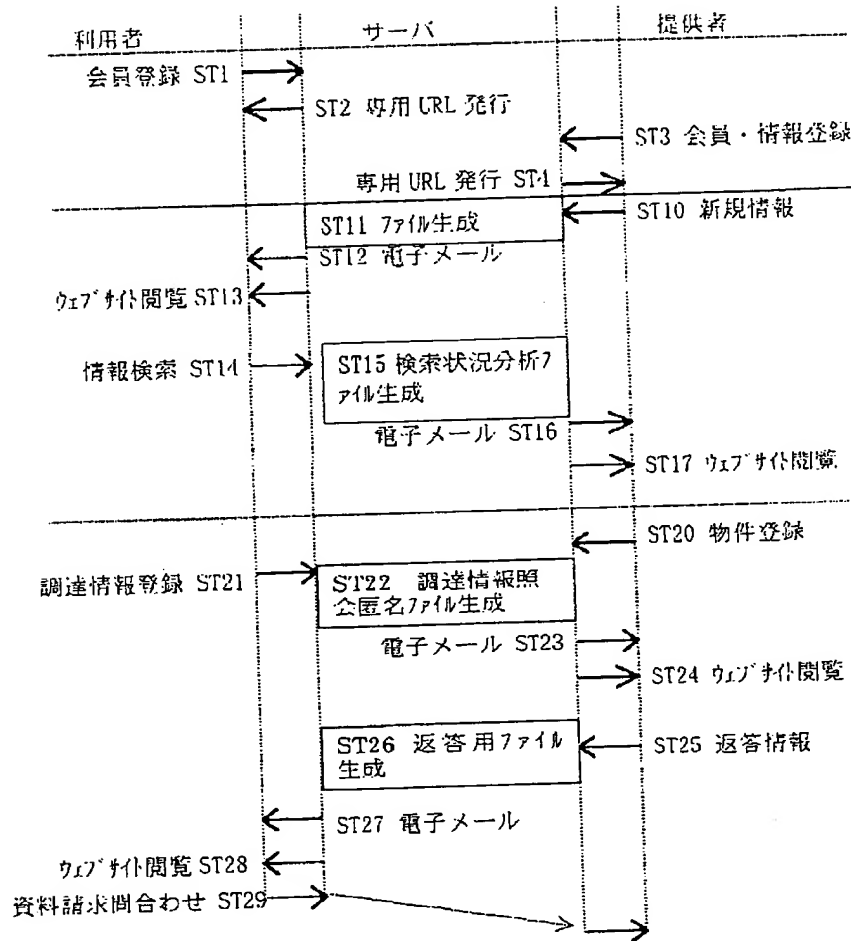
【図2】



【図4】

フリガナ	フリガナ
名前	役職名 (必須) (20)
生年月日 19 年 月 日 性別 男 女	拠点名 (必須) (20)
役職	所属 (必須) (20)
勤務先住所	
TEL (市内区外から入力してください)	FAX (市内区外から入力してください)
Email ID (必ず@を付与してください) (20) AAAA XXXXX@cityserve.or.jp	

【図3】



【図5】

リクエスト情報 ●以下あなたが必要としている情報すべてにマルをつけてください。(複数回答可)
 ◆プロダクト(製品)別リクエスト

OS・ネットワークOS	1.DOS	2.Windows3.2	3.Windows3.0	4.WindowsNT	5.NetWare	6.OS/3	7.NCOS	8.UNIX	9.その他
ハードウェア	11.汎用機	12.イフコン	13.パーソナルコンピュータ	14.パーソナルマシン	15.ワークステーション	16.PCサーバ	17.サーバPC		
ネットワーク機器	18.ルータ/PC	19.PDA	20.その他						
通信機器・周辺機器	21.ルータ/プリン	22.LANポート/ケーブル	23.モデム	24.モデム-TA	25.ATM	26.TDM	27.その他		
通信機器・周辺機器	28.モデムポート	29.モデム	30.入力装置	31.出力装置	32.その他				
ソフトウェア	33.CASE	34.開発ツール	35.GUI開発	36.開発環境	37.CAD/CAM	38.通信機器・シミュレーション	39.計算・制御		
システム管理	40.ネットワーク管理	41.データベース	42.データベース	43.データベース	44.データベース	45.データベース	46.データベース		
データベース	47.データベース	48.データベース	49.データベース	50.データベース	51.データベース	52.データベース	53.データベース		
データベース	54.データベース	55.データベース	56.データベース	57.データベース	58.データベース	59.データベース	60.データベース		
データベース	61.データベース	62.データベース	63.データベース	64.データベース	65.データベース	66.データベース	67.データベース		

フにアール情報 ●あなたの現状についてお聞きください よりあなたに合った情報提供を行うために利用させていただきます

[illegible]

【图8】

Title: 00-02 新規ユーザー登録画面		氏名:	95/11/07	p.3
<h2 style="margin: 0;">Navigation</h2> <p style="margin: 0;">Nov/01/96</p>		権限: アークベース化できる項目		
<h3 style="margin: 0;">新規ユーザー登録</h3> <div style="margin-top: 10px;"> 氏名 <input style="width: 100%;" type="text"/> </div> <div style="margin-top: 10px;"> ふりがな (平仮名) <input style="width: 100%;" type="text"/> </div> <div style="margin-top: 10px;"> 会社名 <input style="width: 100%;" type="text"/> </div> <div style="margin-top: 10px;"> 部署名 <input style="width: 100%;" type="text"/> </div> <div style="margin-top: 10px;"> 電子メールアドレス <input style="width: 100%;" type="text"/> </div> <div style="margin-top: 10px;"> 電話番号 <input style="width: 100%;" type="text"/> </div> <div style="margin-top: 10px;"> 請求書送付先住所 <input style="width: 100%;" type="text"/> </div> <div style="margin-top: 10px;"> 生年月日 西暦 <input style="width: 15%;" type="text"/> 年 <input style="width: 15%;" type="text"/> 月 <input style="width: 15%;" type="text"/> 日 </div> <div style="margin-top: 10px;"> あなたの会社の業種は? </div>	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> テスト活用する </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> ここをクリック するとユーザー 登録しなくても 試用できます (一部機能使用不可) </div> <div style="margin-top: 10px;"> ユーザーマニュアル ・ユーザーID ・パスワード ・表示 ・小計かな ・合計名 ・部署名 ・電子メールアドレス ・電話番号 ・請求書先住所 </div>			
あなたの担当業務は? <input type="checkbox"/> Webシステム <input type="checkbox"/> ソフトウェア開発 <input type="checkbox"/> セールス <input type="checkbox"/> マーケティング <input type="checkbox"/> コンテンツ開発 <input type="checkbox"/> システム管理 <input type="checkbox"/> HRマネージ <input type="checkbox"/> その他				

同社のコンド्यू・マ・ワークス・システムが導入されていますか?
☐ 01-700 ☐ 0101-500 ☐ 0101-1000 ☐ 0101-5000 ☐ 0101-10000 ☐ 10001以上

企業パスワード

8c

【図9】

Title: 00-03 ユーザー登録確認画面		氏名:	98/11/07	p.4
<h2 style="text-align: center;">Navigation</h2> <p style="text-align: right;">Nov/01/98</p> <p>※ 登録ありがとうございます</p> <p>あなたのユーザーIDは: <input type="text" value="abc00001"/></p> <p>パスワードは: <input type="text"/> です。</p> <p>また、この画面を印刷して保存するかユーザーIDとパスワードをメモしてください。</p> <p>Navigation 印刷画面へ</p>		<p>明記・データ... ス化できると</p>		

【図10】

A00 (サーバ関連機器)

A01 ☐ メインフレーム

A02 ☐ オフィス・サーバ

A03 ☐ 並列処理サーバ

A04 ☐ UNIXサーバ

A05 ☐ クラスタシステム

A06 ☐ PCサーバ

A07 ☐ 無停電電源装置

A08 ☐ ディスカレイ

B00 (ワークステーション/クライアント機)

B01 ☐ UNIXワークステーション

B02 ☐ PCワークステーション

B03 ☐ デスクトップPC

B04 ☐ ノートブックPC

B05 ☐ NC(ネットワーク・コンピュータ)

B06 ☐ PDA(モバイル端末)

C00 (ネットワーク関連機器)

C01 ☐ ハブ/インテリジェントハブ

C02 ☐ LANスイッチ

C03 ☐ ATM

C04 ☐ 無線LAN

C05 ☐ ルータ/ブリッジ

C06 ☐ WAN機器

C07 ☐ ネットワーク管理機器

C08 ☐ モデム

C09 ☐ ISDN

C10 ☐ TA/DSU

C11 ☐ PHS/デジタル携帯電話

D00 (システム拡張機器)

D01 ☐ プロセッサ/CPU関連

D02 ☐ グラフィクス/アクセラレータ

D03 ☐ RAM

D04 ☐ インターフェイス拡張

D05 ☐ LANアダプタ

D06 ☐ サウンド/ビデオボード

E00 (補助記憶機器)

E01 ☐ ハードディスクドライブ

E02 ☐ MOドライブ

E03 ☐ CD-ROM

E04 ☐ CD-R/RW

E05 ☐ Zip

E06 ☐ PD

E07 ☐ DVD

E08 ☐ 大容量FDD

E09 ☐ DAT

F00 (入出力機器)

F01 ☐ プリンタ関連

F02 ☐ プロジェクタ

F03 ☐ プロッタ

F04 ☐ コピー

F05 ☐ ディスプレイ

F06 ☐ スキャナ

F07 ☐ デジタルカメラ

F08 ☐ キーボード/マウス

【図29】

●現在ある(または次期販売促進強化の製品について)

- ・ ☐ ある ☐ ない
- ・ 販売促進製品名

- ・ 販売強化予定時期

 年 月 旬頃より

大筋

詳細

●次期セミナー開催について

- ・ ☐ ある ☐ ない
- ・ セミナー名

- ・ 販売強化予定時期

 年 月 日から (年 月 日)

- ・ 開催場所

- ・ 参加予定人数

 人

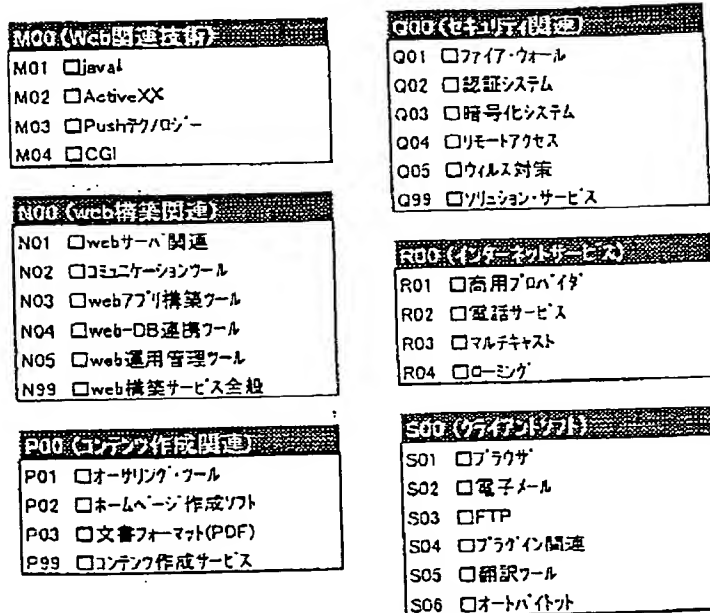
大筋

詳細

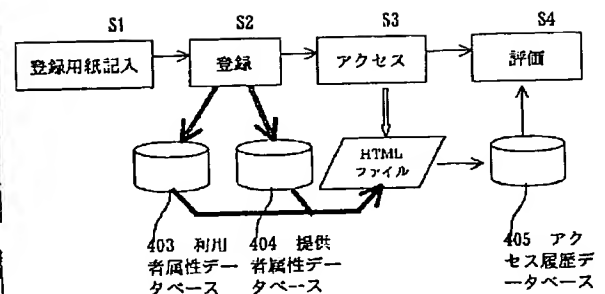
【図11】



【図12】



【図30】



【図13】

T00 (グループウェア)		X00 (ネットワークソリューション)	
T01	<input type="checkbox"/> 電子メール	X01	<input type="checkbox"/> LAN/WAN
T02	<input type="checkbox"/> ドキュメント管理	X02	<input type="checkbox"/> 基幹システム連携
T03	<input type="checkbox"/> スケジュール管理	X03	<input type="checkbox"/> C/Sシステム
T04	<input type="checkbox"/> ワークフロー管理	X04	<input type="checkbox"/> インター/イントラネット構築・連携
T05	<input type="checkbox"/> プロジェクト管理	X05	<input type="checkbox"/> TV会議/パソコン会議
T06	<input type="checkbox"/> マルチメディアデータベース	X06	<input type="checkbox"/> コンピュータ・テレフオニー
T07	<input type="checkbox"/> SFA	X07	<input type="checkbox"/> 構内PHSシステム
T08	<input type="checkbox"/> FAXサーバ	X08	<input type="checkbox"/> VODシステム
T09	<input type="checkbox"/> ヘルプデスク	X09	<input type="checkbox"/> モバイル・コンピューティング
T99	<input type="checkbox"/> グループウェア全般	X10	<input type="checkbox"/> ネットワーク・コンピューティング
		X11	<input type="checkbox"/> GISシステム
		X12	<input type="checkbox"/> 教育用システム
		X13	<input type="checkbox"/> PDM
		X14	<input type="checkbox"/> One-To-Oneシステム

U00 (データウェアハウス)		Y00 (他ソリューションサービス)	
U01	<input type="checkbox"/> データ構築ツール	Y01	<input type="checkbox"/> 2000年問題対応
U02	<input type="checkbox"/> データ分析(OLAP)ツール	Y02	<input type="checkbox"/> ISO9000対応
U03	<input type="checkbox"/> データ・マイニング	Y03	<input type="checkbox"/> ISDN通信サービス
U99	<input type="checkbox"/> データウェアハウス全般	Y04	<input type="checkbox"/> データ通信サービス
		Y05	<input type="checkbox"/> 設計・デザイン関連
		Y06	<input type="checkbox"/> パソコン通信
		Y07	<input type="checkbox"/> サブライ/リサイクル
		Y08	<input type="checkbox"/> PCDリース/レンタル
		Y99	<input type="checkbox"/> その他

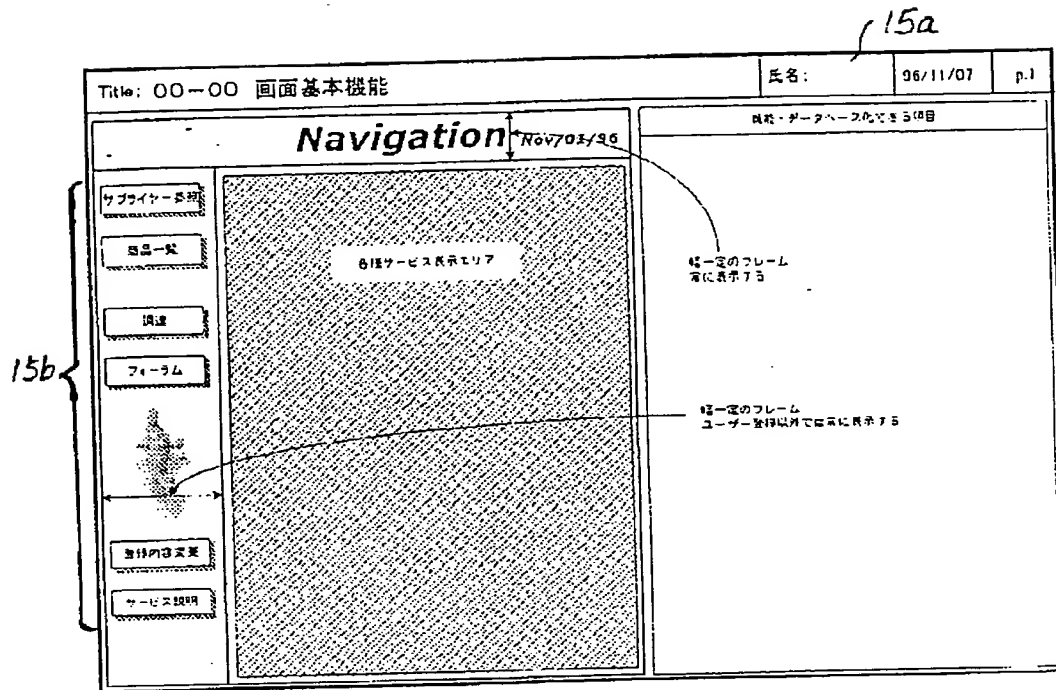
V00 (エレクトロニクス・コマース)	
V01	<input type="checkbox"/> 企業間取引
V02	<input type="checkbox"/> サイバーモール
V03	<input type="checkbox"/> 電子マネー/電子決済
V04	<input type="checkbox"/> ICカード技術
V99	<input type="checkbox"/> エレクトロニクス・コマース全般

W00 (企業パッケージ)	
W01	<input type="checkbox"/> 人事・給与管理
W02	<input type="checkbox"/> 財務・会計管理
W03	<input type="checkbox"/> 生産管理
W04	<input type="checkbox"/> 顧客管理
W05	<input type="checkbox"/> 販売・在庫管理
W99	<input type="checkbox"/> ERPソリューションサービス

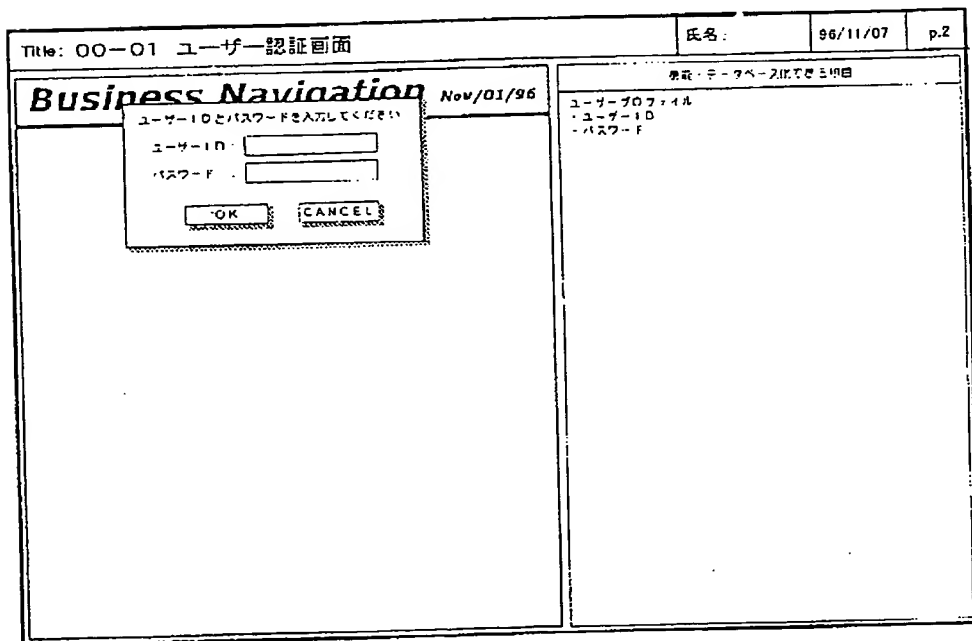
【図14】

カモメ太郎		
発出人:	XXXXX s NetSMTP:admkey@www.XXX.XX.or.jp	14a
送信日時:	1997年8月2日 11:05	
宛先:	XXXXXXXXX.co.jp	14b
件名:	[3] for you <XXXXXXXXX New release 97/08/02>	
[XXXXXXXXX] 新着情報! ☆印はプレゼント付きの情報です。 <97/08/02>		14c
カモメ太郎の専用デスクトップに、新しい情報が掲載されました。		
[11] (URLはこちら) 111		14d
http://www.XXX.or.jp/cgi-bin/per/XXXXXXXXX		
☆新着リクエスト情報		14e
☆ネットワーク対応無停電電源装置000000/業界トップクラスの小型・軽量で15万円を突破!		
http://www.XXX.or.jp/cgi-bin/x/XXXXXX		14f
☆ソフトバンク/新刊刊! 「INTERNET XXX」		
インターネットを利用して最新の情報をギョウキできる新しい形のメディア。		
今回お申し込み頂くと2大特典があります! この機会をお見逃しなく。		
http://www.XXX.or.jp/cgi-bin/XXXXXXXXX		
☆お知らせ		
☆[XXX] 無期限特許! 今売れている「コンピュータ関連の用語辞典」10冊!		
http://www.XXX.or.jp/cgi-bin/x/XXXXXXXXX		
★お送りしている情報は、あなたのリクエストをもとに配信しています。		
★専用デスクトップのURLは、ブラウザのブックマークに是非ご登録下さい。		
★メールの送信先やリクエスト内容の変更を希望される方は、専用デスクトップにある「登録内容の変更」をご利用下さい。		
☆お問い合わせは [admkey@www.XXX.XX.or.jp] まで		
☆(株) XXXX [XXX sネット] 事務局		

【図15】



【図16】



新着リクエスト情報 WWW検索	掲示板 バックナンバー	ニュースリリース 登録内容の変更 カモメ太郎さんのデスクトップ	メインストーリー ご意見ご感想	ソフトウェア検索 FAQ
--------------------	----------------	---------------------------------------	--------------------	-----------------

●新着リクエスト情報

- ☞ /ネットワーク対応無停電電源装置 15万円を実現!
- ☞ ソフトバンク/新刊刊!「INTERNET インターネット」を利用して最新の情報をキャッチできる新しい形のメディア。今回お申し込み頂くと2大特典があります!この機会をお見逃しなく。
- ☞ ミドルウェア/統合開発環境 シリーズ オープン系/でのC/Sシステム開発が急増中!国内96年展出荷実績NO.1!

ここをクリックすると主要コンピュータ企業の特集と最新情報がひと目でチェックできます。

●掲示板

- ☞ 「フロンティア」100名にプレゼントが当たる!「真夏の定点観測〜ライバルたちの戦線大調査〜」
- ☞ フラウガ対決!CPU戦争!コンピュータ業界で操り広げられるライバル関係の戦況を明らかにする新企画。ぜひご参加ください。「NEW」
- ☞ 「フロンティア」アンケートに答えてマウスパットをもうおう! 大アンケート〜ウイルズ編〜
- ☞ 一度は試してみたい注目のアクセサリを大公開! 大アンケート〜アクセサリ編〜 結果発表
- ☞ キーアヒル情報 今売れている「セキュリティ関連」の本10冊!
- ☞ キーアヒル情報 97年7月 読者の新刊情報

「ニュースリリース」

[97/08/02] イントラネット構築支援サービス「イントラネット」 提供開始

- ☞ 「NEW」 コラボレティブ・フィルタリングによるプレミアムを実験開始 「NEW」
- ☞ メール配信サービス

The screenshot shows a web browser window with a title bar. The page title is "Title: 01-01 初期画面". The browser's address bar shows "氏名:" and the date "96/11/07" and page number "p.5". The main content area has a heading "Navigation" with a date "Nov/01/96". Below this, there is a greeting "さん おはようございます" and a section titled "今日の運勢 (ビジネス運)". The text in this section is a horoscope: "まもなく 1966年6月23日 (水)11月13日(日) 出生時刻 不明 出生地 日本 商社勤務が中心で仕事になってまいりそう。プレッシャーな心をもたせられてはこそ苦しむるのです。また、そうすることで運が好転していくワイルドな日々。独立しても商社の手助けを受けて暮らすことも、経営のことまでは考えられないでしょう。会社で働いて思う部分 商社を辞めたほうがいいかもしれません。安否、健康問題、ファッション関係などの分野が、あなたに关しています。". On the left side, there is a vertical navigation menu with buttons: "サブライナー", "商品一覧", "関連", "フォーラム", "登録内容変更", and "サービス説明". On the right side, there is a box containing the text "ここにはホームページ (ホームページ) へのリンクが張られている".

【図18】

発行日: 1999年12月1日

商品情報

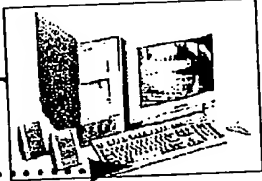
米国PC 社 社務に於いて
数々の高い評価を得ている
がついに日本法人設立!

(A) (D)

18a

18b

18e



■ハイベースコンピューティング
8倍速CD-ROM、高速200MHzのIntel Pentium (R) プロセッサ搭載 (ClientPro (D) のみ)。ClientPro (A) は166MHz Pentium (R) プロセッサ。

■リーズナブルな価格設定
標準価格: ¥225,000~

■完全リボート保証

- ・5年間のマイクロプロセッサとメモリの品質保証
- ・3年間の各パーツ保証
- ・30日間のマネーバック保証
- ・24時間テクニカルサポート
- ・1年間のランライト・サポート

18c

ClientPro (A)

※マウス、日本語キーボード
プリインストール (CD-ROM 本体)
プリインストール (CD-ROM 添付)

標準価格: ¥345,000-

※上記以外の仕様変更も可能です。これらの仕様変更についての詳細は、下記までお問い合わせ下さい。

アンケートにお答えください。

※必ずしも1項目をチェックしてください。(複数選択可)
※Webでの実行内付録1頁の「※」を必ず見てください。
※お申し込みの際は、アンケート番号: 01-000-00000000までお送りください。

対象の商品について

☐ 1. 購入希望
ClientPro (A) () 台
ClientPro (D) () 台

☐ 2. 見送り希望

☐ 3. 送料送付を希望

☐ 4. 営業訪問による説明を希望

ジャパン株式会社

【図20】

Title: 02-01 サプライヤ参照検索画面(社名検索)		氏名:	96/11/07	p.6
--------------------------------	--	-----	----------	-----

Navigation Nov/01/96

サプライヤ参照

部品一覧

関連

フォーム

登録内容変更

サービス説明

社名から探す

社名を入力して検索ボタンを押すか五十音順リストをクリックして下さい

はちと入力してください

・全角カタカナ
・株式会社、有限会社は入力しないでください
ex: 株式会社

オプション
☐ 前万一件 ☐ 検索結果の全部

五十音順リスト

あ行一覧: あ/い/う/え/お
 か行一覧: か/き/く/け/こ
 さ行一覧: さ/し/す/せ/そ
 た行一覧: た/ち/つ/て/と
 な行一覧: な/に/ぬ/ね/の
 は行一覧: は/ひ/ふ/へ/ほ
 ま行一覧: ま/み/む/め/も
 や行一覧: や/ゆ/よ
 ら行一覧: ら/り/る/れ/ろ
 り行一覧

会社情報ロゴ

・会社名

・会社名ヨミ

【図21】

Title: 02-02 サプライヤ参照検索画面(サービス内容検索)		氏名:	96/11/07	p.7
------------------------------------	--	-----	----------	-----

Navigation Nov/01/96

サプライヤ参照

部品一覧

関連

フォーム

登録内容変更

サービス説明

社名から探す

コンピュータ・通信関連メーカー
 コンピュータ・通信関連ディーラー
 コンピュータ・通信関連小売
 ソフト・ハウス、システム・インテグレーション
 ゲーム・パッケージ関連
 ビジネス・パッケージ、システム・インテグレーション
 インターネット接続関連、ホームページ制作サービス
 インターネット・サービス・プロバイダ系
 ソフトハウス、システム・インテグレーション
 デザイン・印刷会社系
 機器関連系、コンサルティング系
 その他関連サービス
 その他関連サービス
 インターネット・サービス・プロバイダ
 パソコン通信系関連

カテゴリOR
 ・カテゴリOR
 ・優先順位

【図22】

Title: 02-10 サプライヤ参照検索画面(社名検索結果一覧)				氏名: . . .	96/11/07	p.8
Navigation Nov/01/96				会社・サービス検索結果		
サプライヤ参照	会社検索結果一覧			会社情報		
商品一覧	会社名	所在地	サービス内容	会社情報		
関連	株式会社	東京都	情報、出版、商	会社情報		
フォーラム	有限会社	大阪市	ISP、ソフトウェア	会社情報		
				会社情報		
				会社情報		
				会社情報		
	<p>以上、検索条件「リクル」で見つけられました</p> <p>各社の詳細情報を見るには右側の「詳細」をクリックしてください</p> <p>検索条件入力画面へ戻る</p>			<p>会社情報</p> <p>会社名</p> <p>会社名ヨミ</p> <p>所在地</p> <p>サービス内容</p>		
登録内容変更						
サービス説明						

【図23】

Title: 02-11 サプライヤ参照検索画面(社名検索結果詳細)				氏名: . . .	96/11/07	p.9
Navigation Nov/01/96				会社・サービス検索結果		
サプライヤ参照	会社検索結果詳細画面			会社情報		
商品一覧	戻る			商品一覧へ		
関連	関連情報へ					
フォーラム						
	<p>▼社名</p> <p>株式会社 . . .</p> <p>▼会社名</p> <p>▼創業</p> <p>昭和55年3月31日</p> <p>▼設立</p> <p>昭和58年8月26日</p> <p>▼資本金(平成7年3月1日より)</p> <p>30,000万円</p> <p>▼売上高(平成6年度実績)</p> <p>2,684億5,200万円</p> <p>▼従業員数(平成6年4月1日現在)</p> <p>5,008名(男2,858名 女2,150名)</p> <p>▼平均年齢</p> <p>30.3歳(男31.3歳 女29.3歳)</p> <p>▼事業内容</p> <p>■情報ネットワーク構築・インテグレーションサービス等</p> <p>■ネットワークインテグレーションサービス</p> <p>■国内線電話</p> <p>■専用線</p> <p>■マルチキャリアサービス 等</p> <p>■ファクシミリ通信サービス</p> <p>■インターネットサービス</p> <p>■フレッツサービス</p> <p>■オンラインFAXプリントサービス</p> <p>■オンラインFAXモニタリングサービス</p> <p>■遠隔地内線サービス 等</p> <p>■Eメールサービス</p> <p>■プルタメール</p>			<p>会社情報</p> <p>会社名</p> <p>会社名ヨミ</p> <p>所在地</p> <p>サービス内容</p>		
登録内容変更						
サービス説明						